ギャンブル問題の当事者や家族への 民間団体・自助活動の紹介の冊子



研究課題名

「ギャンブル障害の当事者や家族に対する自助グループや民間支援団体の実態に関する研究」 実施責任者 筑波大学医学医療系・准教授 森田展彰

目次

目次

١.	はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
Π.	用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
III.	アノニマスグループの紹介
	1 アノニマスグループとは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
	2 GA(ギャンブラーズ・アノニマス) ・・・・・・・・・・・・・・・6
	3 GAM-ANON (ギャマノン) ・・・・・・・・・・・・・・・9
	4 本研究での GA 及びギャマノン利用者のグループインタビューの結果 ・・・・・・12
IV.	民間団体の紹介
	1 民間団体一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
	2 アンケート結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
	3 各民間団体の紹介 (39 団体) ・・・・・・・・・・・・・・・・・21
	4 全国の精神保健福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
٧.	おわりに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
	I I I

I はじめに

わが国において 2016 年 12 月、統合型リゾート (IR) 整備推進法案、通称「カジノ法案」が成立して以降、カジノの導入などの話から、ギャンブル障害の問題に対する社会の関心が高まっています。そうした中で医療や精神保健福祉センターなどの行政でも、新たな相談や回復支援プログラムの導入などが始まっています。一方で、これまでギャンブル障害を生じた当事者や家族の相談を主に受けてきたのは自助グループや民間団体であったと思います。そして、今後も医療や行政では手の届きにくい事例に応じた相談や、「生き方をみなおす」という包括的な視点から、当事者や家族の回復を長期的に支えていく自助グループ、民間団体の役割はさらに重要になってくると思われます。各地域で様々な活動が展開され、特に民間団体は、その多様性が素晴らしい点でもあります。しかし、日本全体でどのような団体があり、どのような支援や活動をおこなっているか把握できにくい面があると思います。

今回、厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究(19GC1016)」の中で自助グループや民間支援団体の実態や支援をどのようにしていくかをまとめる機会をいただき、全国各地の団体に活動内容を伺い、それをこの冊子にまとめさせていただきました。GA やギャマノンなどのアノニマスグループについては直接の調査をお受けにならない方針を伺っておりますので、それを利用している方からのご感想やご意見などを伺い、まとめさせていただきました。各地で様々な支援が行われており、それを当事者や家族や支援者が知っていただければと思います。一口に、「ギャンブル障害」といっても重複する問題や社会経済的状況もさまざまな方がいらっしゃるので、本冊子をもとに医療や行政等と自助グループ、民間団体が互いに知り合って、連携していけることを願っています。

2021 年 2 月 筑波大学医学医療系 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業) 「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究」研究分担者 森田展彰

Ⅱ 用語解説

本冊子で用いられた用語について解説します。

ギャンブル依存症

ギャンブルをすることが生活の中心となり、ギャンブルをやめたくてもやめられない状態になること。多くのギャンブル依存症者が金銭的な問題を抱える。

セルフヘルプグループ

同じ病気や悩みを持つ人同士が支え合って活動しているグループ。

共依存

依存症者に必要とされることに存在価値を見いだし、 ともに依存を維持している周囲の人の行為。例えば、 イライラしている人のご機嫌を取ったりお世話をする こと。

イネイブリング (enabling)

依存症者が依存を続けることを周囲の人が可能な状態にしてしまうことをいう。例えば、ギャンブルが原因の借金の尻拭い(代わりに借金を肩代わりすること)や、万引きなどの後始末、ギャンブルで問題を抱えていることを他の人に知られないようにする事など

12 ステッププログラム (プログラムまたはステップ)

依存症からの回復を目指すために提案された 12 の段階を一つ一つ進めるプログラムである。スポンサーとスポンシーがマンツーマンで進めていくものである。

スポンサー、スポンシー

12 ステッププログラムを先に終了した人をスポンサー、これからプログラムに取り組もうとしている人をスポンシーという。

底つき体験

依存症者または家族が「もうこのままではどうにもできない。このままではだめだ」という心情になる体験。依存症の回復には底つき体験が必要であると言われている。

アノニマス

匿名性・無名性を意味し、参加者が実名や職業などを明かされないため、プライバシーが守られる。アノニマスグループは、これを基本として、お互いを呼んで欲しい名前(ニックネームのようなもの)で呼び合う。



Ⅲ アノニマスグループの紹介



1 アノニマスグループとは

日本には様々な自助グループが存在します。例えば、がん患者同志のグループや自死遺族のグループ、認知症家族のグループなど、何らかの共通項が参加の条件になっており、同じ悩みや似たような問題を抱えた人同士が経験や感情を語り合い、共感し、支え合える場となっています。

自助グループの歴史を遡ると、アルコール依存症の自助グループである A A (アルコホーリクス・アノニマス)が起源となっています。アノニマス (anonymous)とは、匿名性・無名性を意味し、参加者が実名や職業などを明かされないため、プライバシーが守られます。アノニマスグループは、そういった匿名を基本として、お互いを呼んで欲しい名前(ニックネームのようなもの)で呼び合います。

アノニマスグループは自助グループの中でも、特に依存症やそのご家族といった方々が、「言いっぱなし・聞きっぱなし」のミーティングによって苦しみや悩みや経験分かち合うことによって、心の傷を癒したり、同じ経験をした人からの生の体験を聞くことができます。そして、将来への希望を見出していくことができます。また、参加するために予約や会費は必要ではありません。ミーティングで聞いた話はミーティング会場内だけに留めるようお互いが守っており、安心できる空間の中で自分の心の内を語ることができます。

アノニマスグループの多くが 12 ステッププログラム(通称ステップ)という回復のための 12 の提案を仲間から受け、生きづらさからの回復を目指しています。

ギャンブル依存症に対してもアノニマスグループの自助グループが存在し、ギャンブル依存症当事者の方のためのGA(ギャンブラーズ・アノニマス)やギャンブル依存症の方の家族や友人の方のためのギャマノンが知られています。





2 GA(ギャンブラーズ・アノニマス)

G A は、ギャンブルに問題がある方のための自助グループです。2021 年 1 月現在全国に 188 グループ存在し、その中には、女性だけが参加するグループや当事者以外にも参加できるオープンミーティングを開催している場合もあります。(北海道・東北地区 22 グループ、関東地区 60 グループ、東海中部・北信越地区 22 グループ、近畿地区 25 グループ、中国・四国地区 18 グループ、九州地区 41 グループ)

G A では定期的にミーティングを開催しています。そこでは、ギャンブルの問題をもつ当事者の方によるギャンブルが原因で起こった様々な問題や、苦しみなどの体験談が話されます。仲間の話を聞き、自分の話を聞く事ができます。仲間の話を聞き、自分の話を聞くまた、ギャンブルの問題に苦しんでいる方で自身のことで、一日一日ギャンブルをやらない日を積み重ねていく力を得ています。

G A に参加するには、予約や会費などは必要ではなく、性別や年齢の制限もありません。一度参加 したからといってずっと参加する義務もありません。必要な時に必要な会場に参加すれば良いと言 われています。

ギャンブル依存症者の方は、ギャンブルが原因で、経済的な問題や、人間関係や仕事の悩みを抱えている事が多いと言われています。ギャンブルをやめようと思っても止める事ができず、自身のギャンブルをコントロールする事ができなくなってしまいます。

G A では、ミーティングに参加することの他に、12 ステッププログラムを回復のツールとして用いることが提案されています。完治することはない進行性の病と考えられているギャンブル依存症ですが、再びギャンブルをしないために、12 ステッププログラムを用いて自らの生きづらさに向き合う事が大切であり、そのためにも同じ病気を持つ仲間とともに行うミーティングが重要であると言われています。

GA日本インフォメーションセンターJIC

〒 242-0017

神奈川県大和市大和東 3-14-6 K Nハウス 101 FAX: 046-263-3781 gajapan@rj9.so-net.ne.jp (電話での広対はしておりません)

(電話での応対はしておりません) http://www.gajapan.jp/



GAのこれまでのあゆみ

1989年 1991年	2月横浜アディクションフォーラムにて呼びかけを行い、横浜で第一回目のミーティングを開催 (その後、原宿にて定期的にミーティングを開催することとなる)原宿グループ誕生 名古屋グループ誕生
1992年	仙台グループ誕生
1994年	大阪グループ誕生
1995年	北九州グループ誕生
1997年	横浜グループ、札幌グループ、福岡グループ、高知グループ誕生
1999年	熊本グループ、沖縄かいグループ誕生
2000年	郡山グループ、京都グループ、メトロポリタングループ、中野グループ誕生
2001年	下関グループ、保土ヶ谷グループ、町田グループ、札幌すずらんグループ誕生
2002年	横浜ドルフィングループ、沖縄南風グループ、福井グループ、栃木グループ誕生
2003年	王子グループ、長野グループ、宇部グループ、大阪天満グループ誕生
2004年	長岡グループ、田園川崎グループなど 8 グループ誕生
2005年	大分グループ、浦賀グループ、池田コンティニューグループ、武蔵野東上グループ誕生
2006年	湘南グループ、福山グループなど 17 グループ誕生
2007年	都城グループ、河内松原グループなど 10 グループ誕生
2008年	八幡西グループ、瀬谷グループなど 12 グループ誕生
2009年	水戸グループ、釧路西グループなど 26 グループ誕生
2010年	徳島グループ、富山グループなど 18 グループ誕生
2011年	静岡グループ、ピリカグループなど 7 グループ誕生 GA が開催されている都道府県 GA が開催されている都道府 県
2012年	相模原グループ、諏訪グループなど 17 グループ誕生
2013年	アリアドネ宗像グループ、浦和グループなど 16 グループ誕生
2014年	長崎ウェイクアップグループ、京都東山グループなど 8 グループ誕生

% G A 日本の発足から 2014 年までの情報は G A のホームページ(http://www.gajapan.jp/index.html)より抜粋させていただきました。 これ以降の詳細については一般への公表はしていません。

またこの間、GAで用いる書籍の発行や発足集会などが定期的に行われています。

都道府県	グループ名
北海道	オホーツク北見、釧路ぬさまい、帯広、浦賀、千歳、札幌もいわ、札幌北1条、札幌すずらん、苫小牧、小樽雪灯り、室 蘭、はこだて
青森県	青森
岩手県	盛岡
宮城県	仙台、みやぎ
秋田県	広面、秋田
山形県	山形
福島県	PROGRESS 南相馬、ふくしま、郡山、会津、白河
茨城県	ふらっと水戸、鹿嶋、土浦、牛久
栃木県	栃木、宇都宮
群馬県	まえばし、いせさき
埼玉県	大宮、武蔵浦和、武蔵野東上、かわぐち
千葉県	そが、Costa 稲毛、かしわ、ちば八千代、ステップ津田沼、トリムタブ船橋、まつど、ちば、行徳
東京都	王子、江戸川、北千住、メトロポリタン、東京中央、キーストン青山、新宿、高田馬場、原宿、中野、都南池上、三鷹、西東京 STEP、昭島、町田、東京女性 (府中)
神奈川県	かわさき、登戸、フリーダム、京浜、横浜、みなと、ほどがや、新杉田、あさひ、横浜ベイサイド、上倉田、相模原、相模原オープンウェイ、やまと、大船、神奈川女性 (横浜) (星川)
新潟県	長岡、新発田、新潟、新潟八千代
富山県	TURUGI
石川県	金沢
福井県	福井、未来福井
山梨県	BRAVE 山梨、山梨武田、グランドスラム甲州、甲府、山梨 Unity、韮崎
長野県	飯田、信州上田、松本、長野
岐阜県	鵜沼、岐阜
静岡県	東海、静岡、富士、遠州
愛知県	名古屋、名古屋めぐみ、栄、西尾張ひかり
三重県	三重 New Life
滋賀県	東近江、大津
京都府	京都、伏見アムール、乙訓
大阪府	豊中、池田コンティニュー、大阪、生野クローバー、鶴橋、寺田町、大阪オアシス、東住吉、ビリーブ東大阪、河内松原
兵庫県	川西、三田、西宮、芦屋、神戸元町フレンドリー、神戸
奈良県	奈良コンパス、橿原、Sunny 大和高田、サニタス
和歌山県	│ 和歌山なごみ、和歌山有田みかん、和歌山紀南 │
鳥取県	米子
島根県	益田 一本土 一本土
岡山県	
広島県	福山、東広島、阿佐南、広島、ゆめ西広島、呉 山口、京郊、下間
山口県	山口、宇部、下関
徳島県	徳島
香川県	ハッピー高松、FULL MOON 高松
愛媛県	松山、大洲、宇和島 and
高知県	高知
福岡県	なかま、苅田、北九州、小倉、北九州クレーン、戸畑、八幡西、クロサキ、アリアドネ宗像、いいづか、福岡東、オネスティ千早、吉塚、博多、福岡、福岡南、福岡中央、福岡あかつき、グローアップ、二日市、ちくし、久留米、大牟田 (大智・東津・武雄)
佐賀県	佐賀、唐津、武雄 佐世保、諫早、長崎 EAST, 長崎トゥギャザー、長崎ウェイクアップ、出島
長崎県	
熊本県	熊本、玉名
大分県	大分東きずな、大分、なかつ大分
宮崎県	宮崎 鹿児島まなざし、薩摩、鹿児島
鹿児島県	
沖縄県	宜野湾、てぃーだ、Free Place 沖縄、Re:Life 沖縄



3 GAM-ANON (ギャマノン)

ギャマノンはギャンブルの問題の影響を受けた家族・友人のための自助グループです。同じ立場の人たちが集まって定期的にミーティングを行っています。2021 年 1 月現在全国に 188 グループ存在します。(北海道地区 7、東北地区 16、北陸・甲信越 23、北関東・埼玉 23、千葉 13、東京 25、神奈川 11、東海 9、関西 16、大阪 13、中国・四国 10、九州・沖縄 22)

ミーティングでは、同じ悩みや苦しみを抱えてきた仲間たちが、自分の正直な話をし、周りの仲間たちは心を開いて耳を傾けます。誰にも言えなかったことが話せる場であり、話が遮られる事や、意見を言われたり、批判されることはありません。「言いっぱなし、聞きっぱなし」の分かち合う時間を共有することで、困難に対処する力と希望を得る事ができます。

ギャマノンに参加するために、事前連絡や予約は必要ありません。直接会場へ行けば、仲間が歓迎してくれます。参加にあたっての料金も必要ではありませんが、ギャマノンは外部からの寄付を受けておらず、自分たち自身でグループを維持しているためお気持ち程度の献金をお願いしています。

メンバーの中には子育で中の方もいますが保育付きでミーティングを開催していたり、オープンミーティングと言って、ギャンブルの影響を受けた家族や友人以外でも参加できるミーティングを開催しているところもあります。そこは、ギャンブル依存症当事者の方や、ギャマノンに関心のある方も参加する事ができます。

ギャマノンも G A と同じように、ミーティングに参加する事以外に、12 ステッププログラムが回復のツールとして紹介されています。ギャンブルが原因の様々な問題に対処したり、ギャンブル依存症当事者の方との関係性を改善する提案がなされることによって、生きづらさに向き合う事ができるようになります。

※ギャマノンと G A は、ギャンブル依存症に関連のある団体ですが、それぞれ独立しています。合同でセミナーを開催することもありますが、お互いが自立しており、それぞれで語られる内容が漏れることはありません。



一般社団法人ギャマノン日本サービスオフィス

〒 170-0013

東京都豊島区東池袋 2-62-8 BIG オフィスプラザ池袋 501 号

電話:03-6659-4879 (毎週月・木 10:00-12:00)

http://www.gam-anon.jp/



Ш

ギャマノン日本のこれまでのあゆみ

1989 年 11/19 第 1 回 GA ミーティング (原宿相談室) (当初はギャンブラーと家族が一緒にミーティングを行っていた。)

1991 年 10/13 第 1 回ギャマノンミーティング: 八幡山グループ (八幡山 AKK 事務所で月 1 回から始め 1992 年 12 月からは月 2 回、1995 年 6 月からは毎週となる。会場を転々とした時期もあった)

1993年 名古屋竹の子グループ誕生

1995 年 『回復の 12 ステップ』、『ギャマノン流の生き方』『幸せな一日のためのいくつかのヒント』発刊 駒場グループ、大阪グループ誕生

1996 年 福岡グループ誕生

1998年 仙台グループ、横浜グループ誕生

1999 年 北九州グループ誕生

2001 年 1/20 第 1 回ギャマノンの集い開催 (中部総合精神保健福祉センター:50 名参加)7/1 『否認という名の回転木馬』発刊。5 グループ誕生:大阪池田コスモス、とちぎ、瀬谷、郡山、福井

2003年 3 グループ誕生:沖縄結、麻布、新潟

2004 年 ギャマノン通信第 1 号発行。2 グループ誕生:大分、札幌

2005 年 体験談集 No.1 発行 ホームページ開設 7 グループ誕生:浅草、いわき、沖縄南、国立、高松、諏訪、さいたま

2006 年 6 グループ誕生: 船橋、朝霞台、沖縄ゆうな、あざみ野、土浦、名古屋ひだまり

2007年 事務所を開設(池袋)

9グループ誕生:松江、戸塚、さいたま新都心、鶴橋、練馬、神戸船橋第二、九段下、西千葉

2008 年 体験談集 No.2 発行 14 グループ誕生:福島、阿倍野、広島、水戸、なのはな、八王子、旭川、 札幌ライラック、八幡西、伊勢天照、札幌あすなろ、滝川、長岡、鹿児島

2009 年 12 グループ誕生:滋賀びわこ、前橋、東広島、みなと横浜、静岡下呂白草、 登戸、東京ステップ、佐倉、山形、宇都宮スマイル、富山

2010年 一般社団法人 ギャマノン日本サービスオフィス設立

23 グループ誕生: 高田馬場、湘南藤沢、真駒内ナチュナル、四日市、岐阜、熊本、新鎌ケ谷、北千住、ちくし、豊中さくら 奈良、甲府、大手町、蘇我、浦安、つくば、塩尻、狭山 東松山オアシス、高知、GM かたくり、三田、春日井ときわ樹

ギャマノンが開催されている都道府県

2011年 14 グループ誕生: 高津、高崎こばと、長崎、奈良わかくさ、宮崎、調布郡山ステップ、桜木町、たんぽぽ、のぞみ、川西、釧路、葛西、所沢

2012 年 10 グループ誕生:赤羽、春日部、淀川、生駒、松本、中野、津田沼、会津若松、相模原、はんなり

2013年 『ギャマノン流の生き方』発刊

5 グループ誕生:佐賀、新発田、郡山火曜、亀田、青森

2014 年 9 グループ誕生: 大野城、久留米、石川どんぐり、取手、岸和田、松戸、川越ステップ、姫路、米沢

2015 年 10 グループ誕生: 四谷、ホープ京橋、尼崎、松山、船橋ステップ、ウィズダム開成 (郡山火曜から変更)、小山、赤塚ステップ、石巻、上越

2016年 『回復の12ステップ&手引きとなる質問』発刊。

17 グループ誕生:盛岡、ウィズダム錦糸町、万葉まほろば、天満橋 長野、茅場町ステップ、藤井寺、陽だまり諫早、宇都宮ステップ、堺、唐津、新町クローバー、水辺の森、品川、帯広、柏、千葉

2017年 『広報活動のためのハンドブック』発刊。

12 グループ誕生: 伊那、国分寺、仙台第二、和歌山、パワフル明石、南大 田、佐世保結、呉、なごみ西宮、新潟西、カラフル★あかし、奈良王寺

2018 年 20 グループ誕生(名古屋あかつき、高槻、AI 芦屋、那須、あじさい福井、さが・ひまわり、札幌ナチュラル、堀之内 -> 小出、山口、尾道、福島ハピネス、西船ステップ、柏崎、アルプス豊中、ちゅら、函館、行徳ステップ、銀座、長野南、柏ステップナイト)

2019年 伊那 G が南信州 G へ変更(隔週開催から毎週開催になり、会場を移動したため)

13 グループ誕生(ミラクル大久保、三条、前橋こばと、はちのへ、岡山 桃太郎、武雄・大楠、いせさきレインボー、新宿、甲斐ステップ、飯能天覧山、えどがわ、むらかみ、松本南)

2020 年 12 グループ誕生(北くまもと、別府 @ はーもにあかふぇ、吉祥寺、アップルロード飯田、神楽坂、六日町、青森、松戸南ステップ、セレニティ新小岩、浦和ステップ、大阪空港ステップ、相模大野ステップ)

またこの間、ギャマノンで用いる書籍の発行や発足集会などが定期的に行われています。



全国のギャマノングループ (2021年1月現在)

都道府県	グループ名
北海道	札幌あすなろ、札幌ライラック、札幌ナチュラル、滝川、旭川、釧路、帯広、函館
青森県	はちのへ
岩手県	盛岡
宮城県	仙台、仙台泉、石巻
秋田県	
山形県	山形、米沢
福島県	福島、郡山、郡山ステップ、ウィズダム開成、いわき、会津若松、福島ハピネス
茨城県	水戸、土浦、つくばステップ、取手、赤塚ステップ
栃木県	とちぎ、宇都宮ステップ、那須、小山
群馬県	前橋、高崎こばと、前橋こばと、新町クローバー、いせさきレインボー
埼玉県	さいたま、さいたま新都心、朝霞台、なのはな、川越ステップ、狭山、春日部、飯能天覧山
千葉県	浦安、船橋、船橋第 2、西千葉、曽我、佐倉、松戸、柏、柏ステップナイト、千葉、西船ステップ、行徳ステップ
東京都	北千住、東京ステップ、銀座、ウィズダム錦糸町、大手町、九段下、四谷、三田、麻布、駒場、高田馬場、中野、赤羽、 練馬、葛西、えどがわ、調布、新宿、国立、茅場町ステップ、品川、国分寺、吉祥寺
神奈川県	横浜、みなと横浜、瀬谷、戸塚、あざみ野、登戸、高津、湘南藤沢、相模原、南太田
新潟県	むらかみ、新発田、新潟、亀田、新潟西、長岡、上越、小出、柏崎、三条
富山県	富山
石川県	たんぽぽ、石川どんぐり
福井県	福井、あじさい福井
山梨県	甲府、甲斐ステップ
長野県	諏訪、松本、松本南、長野、長野南、アップルロード飯田
岐阜県	下呂白草、岐阜
静岡県	静岡
愛知県	春日井ときわ樹、名古屋竹の子、名古屋ひだまり、名古屋あかつき
三重県	伊勢天照、四日市
滋賀県	滋賀びわこ
京都府	京都はんなり
大阪府	大阪、天満橋、鶴橋、大阪池田コスモス、豊中さくら、アルプス豊中、天王寺、岸和田、ホープ京橋、藤井寺、堺、高槻
兵庫県	川西、なごみ西宮、神戸、パワフル明石、姫路、尼崎、AI 芦屋、ミラクル大久保
奈良県	奈良わかくさ、のぞみ、生駒、万葉まほろば、奈良王子
和歌山県	ギャマノン和歌山
鳥取県	米子
島根県	松江
岡山県	岡山桃太郎
広島県	広島、東広島、呉、尾道
山口県	山口
徳島県	<u>5</u> ₩
香川県	高松
愛媛県	松山 en
高知県	高知 一
福岡県	八幡西、福岡、大野城、ちくし、久留米
佐賀県	ギ佐賀、さがひまわり、唐津、武雄・大楠 長崎、水辺の森、陽だまり諫早、佐世保結
長崎県能士県	
熊本県	熊本、北くまもと
大分県 宮崎県	大分、別府@は一もにあかふぇ 宮崎
選呵宗 鹿児島県	
沖縄県	雄児島
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /



4 本研究での GA およびギャマノン利用者の グループインタビューの結果

G A の 分 析

GA に継続的に参加している 11 名(東京、千葉、名古屋、愛知、長野、奈良、大阪、兵庫、岡山、香川、福岡、鹿児島の GA に参加)に、グループインタビューを行い、これまでのギャンブルでのご苦労の経験や、参加に至った経緯、今感じて いることなどを話してもらいました。この内容を質的に分析したものが以下のようになります。

カテゴリー	サブカテゴリー
自助グループにつながる以前の苦労	借金等の底つきの状態であった。 家族のアディクション問題や逆境的体験で苦しく、それがギャンブルにのめり込むことにつながった。 依存症は病気だということを知らなかったので、ひどくなってしまった。 横領など犯罪をおこなってしまった。 家族の死などの底つきがあった。
自助グループへのつながる経緯	つながることへの抵抗や否認は最初あったし、続くこともある。 家族や生活を失いたくなくて、行き始めた。 家族の頼みや紹介で行くようになった。 精神科からのつながり・紹介で行った。 民間団体の勧めで行くようになった。 新聞記事から知った。 書籍をみて行くようになった。 やめるすべが他にわからなかったのでつながった。 家族もグループへいっていてそれがきっかけになった。
自助グループの有効性ややりがい	自助グループで依存症に対する正しい知識を知ることができた。 同じ体験の仲間がいる居場所を見つけた。 本音で話せ、自分に正直になることができる。 仲間とのつながりや愛情を感じる。 危ない時に助けてもらえる場所である。 自分の限界と人とのつながりや感謝を感じられる。 家族などとのつながりの回復ができる。 他の仲間や社会にメッセージを伝えていくことの使命感を感じる。 相手の話を聞くことを覚えた。 ギャンブルを止めてからの苦しさが解消された。 12 ステップは生き方を変えてくれた(人生を楽しく感じられるようになった)。
自助グループの様々な側面	GA に行くのが基本であり、12 ステッププログラムはその効果を補強する力を持つ。 12 ステップやるかどうかはひとによりけりである。 自助グループが少ない地域では、自助グループを立ち上げる必要があった。 長年通い続けることに意味がある。すぐには効果感じない場合があり、繰り返して良さがわかる。 専門家の入るグループを自助グループと区別していない人がいるが異なる。専門家が入るグループは正直になりにくい。
関連機関や社会に自助グループを理 解してもらいたい	医療と自助グループの併用。 医療での自助グループを知り、正しく紹介してほしい。医療によるばらつきが大きい。 社会に対して自助グループの役割を理解してほしい。 自助グループと専門家の入るグループが区別されていないことがある。 精神保健福祉センターなどとの連携を進められていることや難しいことの両方がある。 日本は偏見が強く、セカンドチャンスが認められにくい。 一回行けばいいということでなく続けることが重要だということをわかってほしい。 地方での自助グループの不足。地域での支援体制が十分でない。



この結果から、ギャンブル障害のある人は「ダメな人間だ」と自己否定したり、逆に「自分は別に大丈夫なんだ」と問題の否認を行い、なかなか自分が困っていることを相談できない場合が多く、そんな状況の中で、自助グループは、当事者にとって同じ立場の人がいて、うまくいっていないことでも受け止めてもらえる体験ができる場所として大きな意味を持っていることがわかりました。また、GAにつながることにより、自己中心的な考えに陥っていた自分を改めて、仲間とつながることの価値や感謝の気持ちを深く感じるようになり、単にギャンブルを止めているというのだけでなく自分や生き方が変わったということが実感を込めて語られていました。

さらに、ミーティングに通うことに加えて、12 ステッププログラムを行うことで、大きな変化を実感していました。プログラムは全員が行うわけではありませんが、このプログラムを行うことで、ギャンブルが止まっていても苦しくて仕方がないと感じていた毎日が楽しいものと感じられるようになったということでした。そしてそうした感じ方の変化は、他の仲間や社会に対して自分たちがメッセージを運ぶという視点が持てるようになることで、「ダメな自分」という考えから一歩出て、他者や社会に心を開くことができるようになることが良い影響を与えるという相乗効果をもたらしていました。更に、自分自身の回復を進めていくことが他の仲間を助けることにもつながっていることを実感する中で自分の価値を感じられるようにもなっていました。

近年、ギャンブル障害への認知行動療法などの心理療法が出てきていますが、これらは、まずギャンブルをどうやめるかということには力を発揮することが期待されますが、やめた後の生きにくさやむなしさを埋めていくことや、自分の人生を肯定的にとらえられためには、認知行動療法のみでは難しい場合があると思われます。「自分の生きている意味が変わる」という実感を与える力がある自助グループは、やはりギャンブル障害の支援になくてはならないものであるということが今回の結果から確かめられました。

ギャマノンの分析

2019年に自助グループを利用し、民間団体での活動をしているギャンブル依存症のご家族の方にグループインタビューを行い、参加に至った経緯や、自助グループ等での経験や困難、社会に伝えたいことなどを話してもらいました。この内容を質的に分析したものが以下のようになります。

カテゴリー	サブカテゴリー
ギャンブル依存症の症状に翻弄され た経験からギャンブル依存症を知り、 地域リソースによりギャマノンを知 る	「ギャンブル依存症の症状に巻き込まれた経験」「インターネットでギャンブル依存症とギャマノンを知る」「消費生活センター等から、ギャマノンを知る」「院内家族会から AC 自助グループに行く」「民間団体に電話相談をしてギャマノンを紹介された」「GA の仲間からの紹介」「病院で家族の会を勧められた」など
家族自身、支援側の自助グループに つながる抵抗要因	「自助グループを紹介してくれなかった」「ギャンブルに問題があることを教えて もらえなかった」「依存症を重く受け止めていなかった」「必要性を感じない時期」 など
自助グループで得られる共感と依存 症の学び	「自助グループで仲間に助けられた体験」 「依存症とその対応を学ぶ」
共依存的生き方の内省と行動変容	「共依存の自覚」「ギャンブル以外での生きづらさの自覚」「自己の内省」「家族の 12 ステッププログラムへの取り組みと行動変容」「その後の家族自身の経過」
家族の変化による当事者のその後	「家族の変化による当事者のその後」
家族支援に対する知識不足と統一さ れない支援	「行政・医療のギャマノン、家族支援に対する知識不足と偏見」「依存対象による 対応の差」「専門家による異なる支援方法」「ハームリダクションの考え方の広ま り」
関係機関の連携不足とその影響	「ギャンブルは医療、行政、司法が関係」「行政と医療の連携がない」「民間団体、 自助グループとの協力関係がない」「地域、医療、行政の縄張り意識」「支援の囲 い込み」
人的要因による家族支援の固定化	「担当者の異動と地域資源との癒着」「広域自治体へのアプローチが難しい」など
望ましくない家族支援による影響	「誤った対応方法による家族の苦しみ」「柔軟な対応が困難な行政による家族支援 の現状」
支援者が家族支援を理解していた	「医療が家族を家族会に紹介する好事例」「理解のある支援者の存在による依存症 対策の充実」
民間団体への経済的支援	「活動資金がないと活動ができない」「活動資金のある地域」「助成金のない地域」
家族支援の窓口の民間団体と市町村、 県への協力関係の広がり	「家族支援の窓口に家族会がなると良い」「市町村レベルの方が協力的」「県を巻き込んでいくこと」「地方議員に協力してもらう」「支援に協力的な行政から広域に広げる可能性」
家族が望むギャンブル依存症対策	「家族がギャマノンにつながることによる本人への利益を行政、医療が伝えることの大切さ」「家族が望む家族支援」「SBIRTS をギャンブルに適応してほしい」
民間団体の今後の展望	「自助グループ支援」「家族からの情報発信の可能性」



この結果より、ギャマノンにつながるきっかけとして、医療機関、行政、消費者相談等からの勧めや後押しがあったことがきっかけとなっている場合もあれば、逆に、担当者の誤った対応や、連携不足などから家族がさらに長期にわたってギャンブル依存症に苦しむことになることもわかりました。

またギャマノンに参加する中で、ギャンブル依存症の知識を得たり、対応の方法を事細かに経験してきた仲間たちに聞く ことができることで当事者へ良い影響もあるようです。さらに、ギャマノンに参加し、12 ステッププログラムを進めてい く中で、自分自身を深く見つめ、共依存的性質への取り組みをしていっていることも見えてきました。

民間団体への活動に参加している家族の思いとしても、家族支援がまだまだ少ないことや、依存症対応への理解の無さ、 医療・行政・民間の連携がなされない事など様々な課題が明らかになってきました。

IV 民間団体の紹介

1 民間団体一覧

団体名	掲載ページ	ギャンブル 依存症の 支援が中心	依存症全般の 当事者支援	依存症の 家族支援	その他
特定非営利活動法人 札幌マック	21		0		
カトレア会 自助グループ	22	0		0	
社会福祉法人 青十字サマリヤ会	23			0	アルコール依存症の支援
NPO 法人 コミファ・依存症家族の会	24			0	アルコール依存症が中心
特定非営利活動法人 栃木 DARC	25		0	0	
一般社団法人 グレイス・ロード 東京センター	26	0		0	
NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会	27	0		0	
ウィメンズアディクションサポートセンターオ ' ハナ	28			0	アルコール依存症が中心
RD デイケアセンター	29		0		
一般社団法人 ブルースター横浜	30	0		0	
特定非営利活動法人 RDP RDP 横浜	31			0	アルコール依存症が中心
アルク翁	32				アルコール依存症が中心
NPO 法人 横浜ダルク・ケア・センター	33			0	薬物依存症が中心
特定非営利活動法人 横浜マック	34			0	アルコール依存症が中心
NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンター ホープヒル	35	0		0	
非営利活動法人ヌジュミ	36	0	0	0	
NPO 法人ワンデーポート	37	0		0	
K-GAP かわさき ギャンブラーズ アディクション ポート	38	0		0	
一般社団法人 相模原ダルク	39			0	アルコール・薬物依存症が中心
一般社団法人 グレイス・ロード	40	0		0	
一般社団法人セルフリカバリー 自立訓練施設「マインド」	41		0	0	
特定非営利活動法人 岐阜ダルク	42		0	0	
NPO 法人 三重ダルク	43		0		
NPO 法人 京都マック	44			0	薬物依存、発達障害支援が中心
大阪いちょうの会	45			0	多重債務に関する支援
特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご	46			0	アルコール依存症が中心
ワンネスグループ フラワーガーデン	47	0	0	0	
一般社団法人ワンネス財団 ワンネスの里	48		0	0	精神疾患や依存症、触法者の支援
ワンネスグループ 一般社団法人セレニティパークジャパン	48	0		0	
ギャンブル問題を考える家族会(藍里病院)	49	0		0	
コスモスの会(ギャンブル依存症の家族会)	50	0		0	
高知うろこ(鱗)の会	51			0	多重債務に関する支援
特定非営利活動法人ジャパンマック 北九州マック	52			0	アルコール依存症が中心
特定非営利活動法人ジャパンマック ジャパンマック福岡	53		0	0	
一般社団法人 656 COBYPLAN	54	0		0	
特定非営利活動法人アディクション・ネットワーク	55	0			アルコール依存症が中心
特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク	56	0		0	
ワンネスグループ 一般社団法人セレニティパークジャパン沖縄	57		0	0	
琉球 GAIA 薬物・アルコール依存症リハビリセンター	58		0	0	
ALPS Center アルコール問題支援事業所	59			0	摂食障害が中心
一般社団法人むら	60		0		
沖縄ダルク サントゥアリオ	61		0	0	アルコール・薬物依存症が中心

本研究では全国の精神保健福祉センターおよび、ギャンブル関連団体のご紹介、口コミ等で、全国に存在する民間団体にアンケートを送り、回答してもらいました。

以下に結果の一部をご紹介します。(北海道から沖縄まで地域の順に並んでいます)

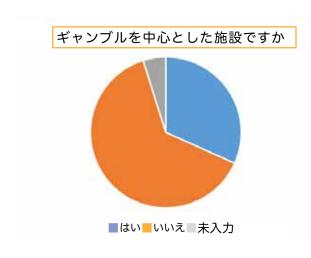
本研究において回答いただいた民間団体一覧

データ 73 箇所を送付して 41 団体から回答をいただいています。

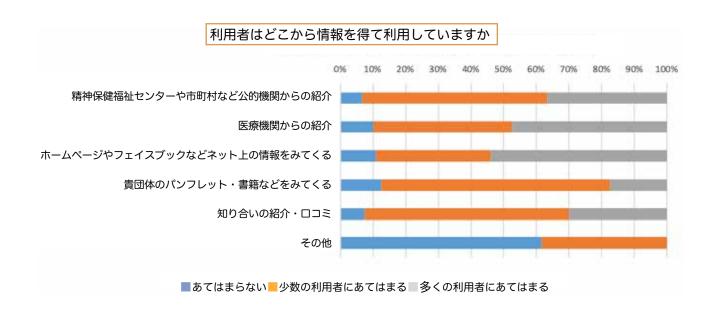
所在地
北海道札幌市南区藤野 4 条 3 丁目 8-18
栃木県宇都宮市下栗町 2292-7
東京都新宿区矢来町 131 番地
東京都北区滝野川 6-76-9 エスポワールオチアイ 1F
東京都板橋区板橋 4-6-1 板橋スカイプラザ 2-J
神奈川県横浜市金沢区能見台通 3 番 1 号アサヒビル 201 号室
神奈川県横浜市神奈川区松本町 4-28-16 弘津ビル 2F
神奈川県横浜市中区扇町 3-8-7 三平ビル 1 階
神奈川県横浜市南区宿町 2-44-5
神奈川県横浜市旭区本宿町 91 番地 6
神奈川県横浜市旭区東希望が丘 133-1 第 3 コーポランス C 棟 508 号室
横浜市保土ヶ谷区西谷町4丁目1番6号西谷産業ビル1階
神奈川県横浜市瀬谷区相沢 4-10-1 クボタハイツ 102
神奈川県川崎市川崎区台町 4-1
神奈川県相模原市中央区千代田 3-3-20
山梨県甲府市幸町 9-23 山梨回復支援センタービル 2F
石川県金沢市黒田 1 丁目 75-2
岐阜県岐阜市真砂町 11-12 不破ビル
三重県津市栄町 3 丁目 130
京都府京都市下京区大宮通丹波口下ル大宮 3 丁目 18 番地 MAC ビル
大阪府大阪市北区西天満 4-5-5 マーキス梅田 301 号
大阪府大阪市東住吉区住道矢田 3-4-3
奈良県橿原市上品寺町 370-22
奈良県宇陀市大宇陀大東 11-2
奈良県大和高田市東中 2-10-18
徳島県板野郡上板町佐藤塚東 288-3
愛媛県松山市三番町 6 丁目 4 番地 20 号
高知県高知市本町 4 丁目 1-37(高知県社会福祉センター 3 階 4 号室)
福岡県北九州市小倉北区大手町 6-27 管工事共同組合ビル 3 階
福岡市博多区堅粕 3-19-19
佐賀県佐賀市鍋島 3-2-4
長崎県諫早市多良見町化屋 730-1 アディクション喜々津
沖縄県中頭郡西原町上原 2 丁目 9 番地の 1 ルボワ YARA2F
沖縄県那覇市前島 2-2-16 コーポ有住 401 号室
沖縄県那覇市古波蔵 1 丁目 18-37
沖縄県那覇市前島 3 丁目 19-8
沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28
沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 4F

2 アンケート結果

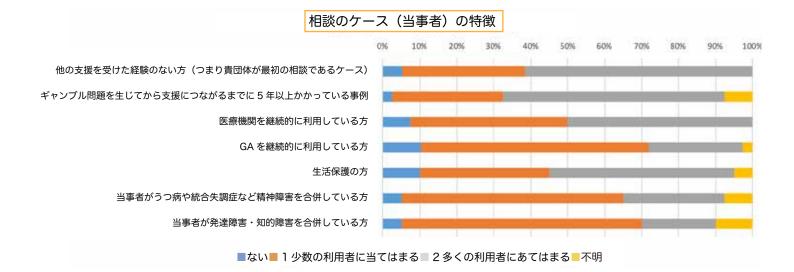
2020年5月に全国の精神保健福祉センターや関連団体から、地域にある自助グループや依存症支援の民間団体を紹介してもらい、73団体に対してアンケートを送付しました。その結果41団体より回答をいただきました。(回収率56.2%)



ギャンブルを中心とした施設は 13 例で、他はアルコールや薬物依存を中心とした施設でした。

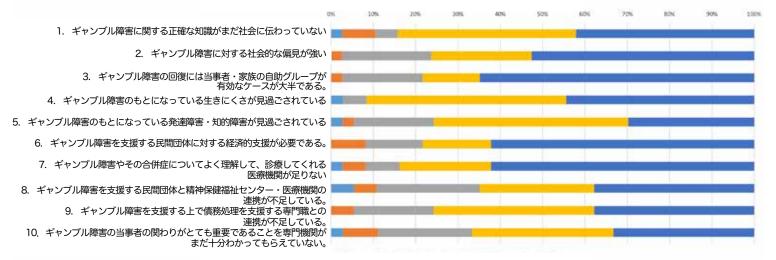


施設へのアクセスはインターネットや医療機関、行政機関からの紹介によるものが多いことがわかります。



当事者の特徴として、ギャンブル問題から 5 年以上経過している事例が多く、 半数の方が医療機関の継続利用、生活保護を利用していました。

ギャンブル障害の支援において感じていること



■ 1 あてはまらない ■ 2 あまりあてはまらない ■ 2 どちらともいえない ■ 3 ややあてはまる ■ 5 あてはまる

民間団体がギャンブル障害への支援で感じていることとして多かったのが、 当事者や家族が自助グループに参加することが回復に有効、民間団体への 経済的支援や医療機関の民間団体の周知、ギャンブル障害への社会の偏見 などを感じていました。



≥民間団体の紹介

特定非営利活動法人 札幌マック

MAC=マックは、カトリックのアルコール依存症者回復のための施設(メリノール・アルコール・ケアセンター)の略称

所在地 〒 003-0002 札幌市白石区東札幌 2 条 5 丁目 1 番 21 号

利用者 当事者

主な活動 1日3回のミーティング(夜は自助グループ)

グループホームでの生活訓練(仲間との関係づくりも含む)

宿泊研修(年2回) 教会清掃(月1回) 受託公園清掃(週1回)

ボランティア清掃(サイクリングロード週1回)

陶芸 (隔週月 2 回) 野外バーベキューなど

スタッフは全国マック協議会・JCCA に参加、各種研修・セミナーに参加

支援において 大切にして いること (仲間に対して)「できない人」ではなく「やればできる人」の共通認識。仲間は鏡(人の振り見て我が振り直せ)。教えるのではなく伝える。(依存症からの強制的回復はありえない。本人の自由意志に基づく自己変容である)。人として尊重し、誠実に向き合う。12ステップの実践(スタッフは良くも悪くも回復のサンプルである)。自助グループにつなげる意識。

利用の手続き

まずはご連絡を→相談対応(即日入所可)→入所・通所希望の確認→生活保護・障害福祉サービスに係る申請・自立支援医療等はケースに応じて手続きを進めます。(往復1時間20~30分)歩けること。介護を必要としない生活が送れることなどが条件です。

ホームページ等

http://www.sapporo-mac.jp/

団体連絡先等

011-841-7055(男性) FAX:011-813-2043 info@sapporo-mac.jp 011-812-4903(女性) FAX は TEL に同じ jomac@pjade.plala.or.jp

その他

カトレア会 自助グループ

所在地 札幌エルプラザ (〒 060-0808 札幌市北区北8西3)

利用者家族

主な活動 ギャンブラーとどう向き合っていくかを学びながら自分の辛さを話し気持ちを分かち

合う

支援において 大切にして いること 仲間が分かち合っている最中に他の人が話を遮ったりしない。話す人は何を話しても

自由。

利用の手続き 問い合わせ先に連絡。会費 200 円/1回

ホームページ等 なし

団体連絡先等問い合わせ先

道立精神保健福祉センター相談支援部 TEL:011-864-7000

その他 原則毎月第1水曜日 10:00~11:30

毎月第3水曜日13:30~15:00



≥民間団体の紹介

社会福祉法人 青十字サマリヤ会

所在地 〒 061-2284 札幌市南区藤野 4 条 3 丁目 8 番 18 号

利用者 当事者、家族、その他

主な活動アルコール、ギャンブル依存症からの回復中間施設

支援において 大切にして いること セルフマネジメントを高めて地域の中で依存症からの回復をし続けるための基盤づくり

利用の手続き 障害福祉サービスの利用申請

ホームページ等

団体連絡先等

その他



NPO 法人 コミファ・依存症家族の会

(地域の中の依存症の問題を抱える家族が語り合える所として)

所在地病院の研修室、公共の市民施設など

利用者家族の自助グループなので家族が中心となって集まっている。

保健所などの職員の方も時々参加されている。

主な活動・相談、情報提供

・ 依存症の正しい知識を得るためのミニ勉強会

・ グループミーティングを行いながら月 1回の定例会を県内 3 カ所で活動している。

• 年に数回の出前講座で専門家を呼んで知識の習得と懇談会を通して家族の成長を目指している。

• 当事者をゲストスピーカーとして参加依頼し、依存症者本人の回復の話などを通し

て学ぶ機会を設けている。

• 普及啓発活動

支援において 大切にして いること 依存症を有する人にサポートが必要なように家族にもサポートが必要である。との観点から一人も孤独にさせないことだと思っている。適切なサポートをしながら安心安全な居場所としてグループの中から自己変革できるような学びができることを目指している。

利用の手続き特にありません。いつでも自由に参加。

ホームページ等 http://www.comi-fa.com/

団体連絡先等 〒 010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻堺切 24-2 (遊学舎)

080-3272-3233

その他 NPO 法人コミファは様々な依存症の家族の会として出発しました。個別の種類

のアディクションに関する家族会としては県内地域の広さからできない事情がありました。様々な依存症問題を同じ目線で捉え学ぶ中で、自分の居場所として安心して本来の自分自身を取り戻せる会であると自負しています。そして、そこから現在は、単独、

ギャンブル依存症家族の会のグループも誕生して活動しています。

依存症問題は受け皿が少なすぎると実感しています。地域の広さ、冬の雪の深さ、交 通手段などを考えるとその地域に即したあり方で、受け皿としての活動ができている

と思います。(微力ながら)

特定非営利活動法人 栃木 DARC

所在地 〒 321-0923 栃木県宇都宮市下栗町 2292-7

利用者 薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症のリハビリを必要とする人

依存症当事者とその家族

主な活動 ・県内にある 5 施設と 3 段階のシステム(3stage system)を駆使して本人へ回復す

るために必要な場所とプログラムを提供する施設事業をベースに以下の事業を展開

・依存症者とその家族への回復支援事業

・依存症に関する相談

・依存症に関する講義、講演、研修、セミナーの開催

・障害福祉サービス事業における自立訓練(R2/8/19 現在)

支援において 大切にして いること

回復動機は回復の場にいることから芽生えると信じて根気強く焦らずに支援するこ

یے

本人のニーズに対して適切な対応をすること

支援者の主観に偏らないようシステムに基づいた客観的な支援を心がける

関係機関からの紹介、家族等からの問い合わせの後、キーパーソンへの相談事業を通 利用の手続き

じたアセスメントの後

ホームページ等 http://www.t-darc.com/

団体連絡先等 宇都宮市下栗町 2292-7

028-666-8536

その他 栃木 DARC は 2003 年の開設から今年で 17 年目を迎え、2020 年までに県内 5 カ所の

施設と地域にて依存症者とその家族へ向けた回復支援事業を展開しています。

栃木 DARC では独自の回復指標である「3stage system」を採用し 12 項目を 3 段階に 分け「動機づけ」「回復」「社会復帰」「女性」「農業」のテーマを掲げ各施設に設けて

回復支援を実施しています。

3 ステージを採用し、回復段階を可視化することで、利用者に対する共通の指標を提 示することを可能とし、利用者が自分の段階や課題を把握しやすい構造となっていま す。提供する側の個人の主観に偏らない支援に有益であることも3ステージを用いる メリットです。ステージが上がると場所もプログラム内容も変化することから、環境

変化によるステップアップの実感を得やすいことも特徴です。

施設事業の他にも関係機関からの委託を受けて講義や認知行動療法をベースとしたプ ログラムを出張で行い、地域でプログラムを必要とする様々な人たちへの支援も行っ ています。利用者に対する就労支援や家族支援など、依存症から生まれる様々なニー ズに対応することで開設から現在までの形へと事業展開を図ってきました。

昨年度はギャンブル依存症者に対する入寮事業と宇都宮市の認可を受けて障害福祉 サービス事業である自立支援を開始しました。既存のシステムに障害福祉サービス事 業を併用することで、重複障害を抱える利用者に対するプログラムの充実を図り、様々 なニーズに対応できる事業体制を整えています。

25

一般社団法人 グレイス・ロード 東京センター

所在地 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-3 アクセス西新宿 9 階

利用者 当事者

主な活動 ①ギャンブル依存症回復支援

・12 ステッププログラムを習得することにより、将来の社会的自立を目指します。

②相談業務

・ギャンブルの問題でお困りのご本人やご家族からのご相談に対応しています。

③予防啓発活動

・行政、司法、教育機関とも連携し、講演会や勉強会などの予防啓発活動を行ってい

ます。

支援において 大切にして いること 一当事者として寄り添った回復支援

利用の手続き 直接来所できない場合は、電話またはメールでも手続きは可能です。

ホームページ等 http://www.gracelord-tokyo.jp/

団体連絡先等 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-3 アクセス西新宿 9 階

TEL: 03-5937-3816 FAX: 03-5937-3817 E-mail: grace-tokyo@iaa.itkeeper.ne.jp

その他グレイス・ロード東京センターは、西新宿にあるギャンブル依存症回復施設です。ご

本人・ご家族など、ギャンブル依存症でお困りの方へ、ギャンブル依存症からの回復

プログラムの提供、相談事業のほか、予防啓発活動などを行っております。



NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会

所在地 〒 162-0825 東京都新宿区矢来町 131 番池

利用者当事者、家族、その他

主な活動 私たちはギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知ってもらうことを目的として 啓発活動、情報提供などの活動をしています。

・定例会にて参加者で行うギャンブル依存症に関する学習会

・依存症問題の有識者を招き勉強会

■当事者、家族の体験談を聞き、病気の理解と家族の対応を学ぶ

■司法書士などによる借金問題の勉強会を通して、借金対応方法を学ぶ

・セミナー、シンポジウムを開催

支援において 大切にして いること 私たちはギャンブル依存症に対する正しい知識を国民の皆様に知ってもらい、ギャンブル依存症の当事者はもちろんのこと、家族が苦しみや悲しみから解放され、ギャンブル依存症による社会問題が減少していくことを望んでいます。行政との連携、情報交換、新しくつながってきた家族の相談と解決策の提案を大事にしている。

利用の手続き

ホームページやチラシにて担当窓口の電話連絡先を明示して対応している

ホームページ等

https://gdfam.org/

団体連絡先等

〒 162-0805 東京都新宿区矢来町 131 番地 TEL: 090-1404-3327 FAX: 047-381-4123

その他

ギャンブルによって、借金やその他の問題を繰り返すギャンブラーに対して、何とかできる方法はないだろうかと悩み、自分を責め、苦しんできたのが私たち家族です。 そして、同じ苦しみの中にいる家族たちが当事者との適切な関わり方を学び、結果として、当事者にとっても家族にとっても有効な手立てが取れるのではと考えるようになりました。

私たちは、ギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知ってもらうことを目的として、啓発活動、情報提供などの活動しています。

今後、治療施設やセルフケアサービス、行政機関との連携により、依存症者の就労機 会の確保を図る活動や、ギャンブル依存症問題の啓発と予防教育の推進を図る活動を 行っていきます。

私たちは、ギャンブル依存症に対する正しい知識を国民の皆様に知ってもらい、ギャンブル依存症の当事者はもちろんのこと、家族が苦しみや悲しみから解放され、ギャンブル依存症による社会問題が減少していくことを望んでいます。

特定非営利活動法人ジャパンマック ウィメンズアディクションサポートセンターオ'ハナ

(オ'ハナはハワイ語の家族という意味)

所在地 〒 114-0023 東京都北区滝野川 6-7 6-9 エスポワール・オチアイ 501・601

利用者 当事者

(アルコール・薬物・ギャンブル依存症の方々、摂食障害者や買い物・インターネット依存の女性の方)

女性の依存症者のための多機能型事業所(生活訓練、B型就労継続支援)です。ナイトケアのご利用も可能です。

主な活動・自立訓練(生活訓練)

主に依存症からの回復のためのミーティングを中心に行っています。その他にパッチワークや DVD 鑑賞、ヨガ、ドラマセラピー、バドミントン等を通して精神的、身体的な回復を目指した活動を行っています。就労の時期になりましたら就労支援も行っています。

・就労継続支援 B 型

作業を中心とした活動。月単位で工賃が支払われます。作業を通して社会参加に必要なスキルを習得していきます。

支援において 大切にして いること 依存症者は自分のことを表現するのが苦手で、自己表現に時間がかかるため、傾聴する姿勢を大切にしております。人間にも依存する体質なので利用者の精神的自立ができるように支援していくことを意識しております。

利用の手続き

電話にてお問い合わせをいただいた後、面接し、体験利用後に利用開始となります。 同時に市町村の窓口で障害者総合支援法の「障害福祉サービス訓練等給付」の申請をお願いいたします。

ホームページ等 https://japanmac.or.jp/ohana/

団体連絡先等 連絡先:03-3916-0851

その他 依存症からの回復には、同じ病気から回復したいと願っている仲間との出会いが必要

です。女性には女性特有の問題や課題があったり、家庭の事情や重複して障害を抱えているなど個人差が大きいので、それぞれの環境に合わせて回復を進められるように相談を受け付けています。女性専用の寮もあるのでご希望の方はお気軽にお問い合わ

せ下さい。

特定非営利活動法人ジャパンマック <u>障害福祉サービス自立訓練(生活訓練)</u>事業所 RD デイケアセンター

所在地 〒 173-0004 東京都板橋区板橋 4-6-1 板橋スカイプラザ 2-J

利用者 当事者

(アルコール、ギャンブル、薬物、その他アディクションの問題を持つ当事者)

主な活動・リカバリーダイナミクスによる 12 ステップワークを担当スタッフと 1 対 1 で取り

組む

・12 ステップを 28 セッションに分けて、講義形式で学び理解を深めていく。

・書籍等を使って 75 分間のミーティング

・12 ステップや回復を課題としたグループワーク

支援において 大切にして いること ・AA のビッグブックを使って、リカバリーダイナミクスのステップワークを進める。

・担当スタッフ制を取り入れた個別対応

利用の手続き 障害福祉サービス、自立訓練(生活訓練)の申請

ホームページ等 https://i-rddc.com/

団体連絡先等 03-5944-1602

火~土:9:00~17:30 (日・月休み)

Email: i-rddc@japanmac.or.jp

その他 AA の 12 ステップを施設で学ぶためのプログラム(リカバリー・ダイナミクス®)を

提供する生活訓練事業所です。ナイトケア設備はありません。



一般社団法人 ブルースター横浜

ブルースターの花言葉「信じあう心」からとり、依存症の人の多くは自分も他人も信じ合うことができず孤立してしまうことから、信じあう心を大切にして欲しいと思い命名しました。

所在地 〒 236-0053 神奈川県横浜市金沢区能見台通3番1号アサヒビル201号室

利用者 当事者

ギャンブル依存症を中心とした、インターネット・ゲーム・携帯・買い物依存症などから脱却しより良い生き方を目指していくためのプロセス依存症専門の入寮型施設で

す。主な利用者は 20 ~ 30 歳が多く利用しています。

主な活動 私自身がギャンブル依存症当事者で今でも自助グループに通って約 15 年経ちました。

施設の活動としてはあまり集団ミーティングはせずに、個人個人のその時に合わせた

プログラムを行なっています。

まず繋がったばかりの人に依存症のことを伝えても聞く耳を持っておらず、気持ちを隠してきた生き方からか適当な相槌つまり聞いたフリをする人が非常に多いです。まずもって生活習慣を見直したり、施設での生活に慣れることの方が大事です。そして、そこから向き合っていく姿勢を学び聞く耳を持ち前向きな心を持てるようになれば依存症だけの問題は解決できると思います。しかし、依存症の裏にはその人その人の問

題が隠れていることの方が多いため、このあたりを皆様にお伝えしています。

支援において 大切にして いること プロセス依存症で特に抱えている問題は、なかなか表面上に現れてこない生きづらさからくるのめり込みだと思います。以前は集団認知行動療法がこぞって有効だと伝えられて来ていましたがこの療法には合わない人がいることも分かってきました。そのため依存症を一括りにはせず、その人にあった個別対応が大切だと思いクライアント

と向き合っています。

利用の手続き 本人、家族などの相談があれば利用開始できます。なお、生活保護範囲内での利用も

可能です。困っていたらまずご相談ください。サポートします。

ホームページ等 https://www.navida.ne.jp/snavi/100670_1.html

団体連絡先等 TEL: 045-349-2732 FAX: 045-349-2733

その他



≥民間団体の紹介

特定非営利活動法人 RDP RDP 横浜

(Recovery Dynamics Project の略です)

所在地 〒 221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 4-28-16 弘津ビル 2F

利用者
当事者(アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症で苦しんでいる人、共依存症か

らの回復を目指す家族の方も利用されています。)

主な活動 午前中はリカバリー・ダイナミクス®というプログラムを用いて AA のテキスト「ア

ルコホーリクス・アノニマス」の 12 ステップを学びます。段階に応じて棚卸しなど

のステップにも取り組みます。

午後はミーティングのほか、伝統について学んだり、ヨガ、調理実習など各種プログ

ラムに取り組みます。夜間は各自、自助グループに参加します。

支援において 大切にして いること 12 ステップにおいて、依存症からの回復に必要とされているフェローシップ(仲間とのつながり)と内面の変化を感じ、アディクションを使わずに社会生活が営めるよう

になるようサポートを続けています。

利用の手続き まずは来所して当施設のプログラムに参加していただきます。体験利用を経たのち、

自治体に障害福祉サービスの利用申請をし、受給者証を取得し、本利用となります。

ホームページ等 http://rd-project.org/

団体連絡先等 TEL: 045-595-9867 FAX: 045-595-9866

その他 ナイトケアのご案内 (男性のみ)

依存症の回復には生活習慣の改善が必要不可欠だと言われています。RDP 横浜では、NPO 法人 RDP が運営するナイトケアハウス(寮)と連携して、依存症の再発を防ぐ

生活スタイルを学ぶ環境を提供しています。

利用期間中の24時間の安全はもちろん、修了後社会に戻ってからも回復し続ける土

台を作っていただけます。

見学及び体験利用は無料ですのでお気軽にお電話ください。

(住所が翁町にあったため)

所在地 〒 231-0027 神奈川県横浜市中区扇町 3-8-7

利用者 当事者

主にアルコール依存症中心(ギャンブル、薬物)

主な活動 AM ミーティング (アルク合同週2回)

PM 作業

・外注、軽作業中心、施設外就労(清掃、週1、2回)

・地域行事への参加

・昼食サービス (週2回)

・週1回のウォーキング

・毎朝ラジオ体操

・ビジネスミーティング(役割分担等)

支援において 大切にして

いること

・飲まない新しい生き方の継続

・面接を通しその人に適した個別支援計画を作成

・安定した通所を目指す

・自助グループの必要性を気づいてもらう支援

利用の手続き窓口受付、第一アルクデイケアセンター

利用者個々の支援に合った他の4施設にご案内し4施設内でも必要な手続きを取れば

可能となります。

ホームページ等 http://kotobuki-aruku.jp/ (市民の会 寿アルク)

団体連絡先等 〒 231-0025 神奈川県横浜市中区松影町 3-11-2(2F)

特定非営利活動法人 市民の会 寿アルク TEL: 045-641-7344 FAX: 045-641-7352

〒 231-0027 横浜市中区扇町 3-8-7

アルク翁

TEL: 045-263-6495 FAX: 045-263-6496

その他 (就労継続支援 B 型)

NPO 法人 横浜ダルク・ケア・センター

所在地 〒 232-0017 神奈川県横浜市南区宿町 2 丁目 44-5

利用者 麻薬や覚醒剤、シンナーだけでなく咳止め薬、鎮痛剤、睡眠薬、精神安定剤、危険ドラッ

グそしてアルコールなど生活の身近な薬によって薬物依存になった人たちの回復と社

会復帰を手助けする民間のリハビリ施設

主な活動 ナイトケア

デイケア

個別相談、生活指導、金銭管理、健康管理、就労援助など

1日3回のグループワークを中心に、スポーツ、レクリエーション、自助グループの

セミナー、他ダルクとの合同合宿セミナーへの参加等。

入寮者には、定期的にカウンセリングを行い、週に 1 度スタッフ全員でメンバーのケー

ス検討を行う。

支援において 大切にして いること 横浜ダルクには強制するものはありません。必要なのは薬をやめたいという本人の意思と、1日3回のミーティングに必ず参加することだけです。ミーティングは原則として批判したり、非難したりせず、お互い黙って耳を傾けます。ダルクに来た新しい仲間は、自分の体験を話すことによって、今まで自分ひとりの中で悩み苦しんできた事から解放され、自分と同じ体験をして共通の問題を抱えている仲間がいることを知り、お互いに共感することができるのです。回復したスタッフや仲間の明るい声や、落ち着いた態度が、自分も同じように回復できるかもしれないという希望につながります。また、新しいメンバーの姿は、かつての自分の姿であり、自分が薬にまた手を出せばどうなるかを教えてくれているのです。ミーティングで経験や体験を分かち合う中で、彼らの心は少しずつ癒され回復につながっていくのです。

利用の手続き

ホームページ等 https://yokohama-darc.jp/daycare/

団体連絡先等 045-731-8666

その他



特定非営利活動法人 横浜マック 横浜マック・デイケアセンター 男性用グループホーム(いしずえ)、女性用グループホーム(まゆの家)

「MAC」は、「Mission Alcohol Center」の略と聞いています

所在地 〒 241-0023 神奈川県横浜市旭区本宿町 91-6

最寄り駅は相鉄線二俣川駅です

利用者 アルコール依存症者の方がメインですが、薬物依存症、ギャンブル障害の方もいらっ

しゃいます

主な活動・ミーティング (グループセラピー)

• 認知行動療法

・レクリエーション・プログラム(スポーツ、調理、ヨガ etc.)

・個別面談

・専門病院や行政への広報活動

支援において 大切にして いること 各利用者に必ず担当職員がつき、週1回程度定期的に個別面談の時間を設けるように

しています。

個別面談の中で個々の個性や背景、それぞれの障害や問題をつかんで一人一人に合っ

た支援計画を立てていくよう心がけています。

利用の手続き 障害福祉サービスの自立訓練 (生活訓練)施設になります。

ホームページ等 http://yokohama-mac.blue.coocan.jp/

団体連絡先等 TEL: 045-366-2650

〒 241-0023 神奈川県横浜市旭区本宿町 91-6

その他横浜マックデイケアセンターではミーティングと認知行動療法を行なっています。

グループホームは、アルコール・薬物・その他の依存の問題から回復を願っている 人たちが、落ちついた雰囲気の中で、規則正しい生活のリズム(習慣)を取り戻し

ていく宿泊施設です。

横浜マック・デイケアセンターへの通所、及び地域の自助グループへの参加を通して、ありのままの自分を受け入れ、対人関係を学び、プログラムを実践していくこ

とによる身体的、精神的な回復、及び社会的な自立を目的としています。

NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンター ホープヒル

所在地 〒 241-0826 横浜市旭区東希望が丘 133-1 第 3 コーポラス C 棟 508 号

利用者 ギャンブル依存症のご家族

主な活動 ギャンブル依存症で困っている家族やその家族に対して、個別相談やセミナーを通し

て正しい知識を啓発して支援すること、それを支援する援助者に対してもギャンブル 依存症の正しい知識と対応方法を啓発していくこと。また、ギャンブル依存症の回復

施設を継続運営して困っている本人の社会復帰を支援する。

支援において 大切にして いること 家庭内において当事者の対応に戸惑い、悩み、傷つくことにもなっているため、疑問、

不安など家族の気持ちに寄り添いながら支援していく。

本人に合った治療方針を提供している。

利用の手続き 家族と本人の個別相談(有料)、電話・メール相談(無料)

毎週土曜日に開催している家族教室にいつでも参加可能(有料)

ホームページ等 https://www.npo-hopehill.com/

団体連絡先等 045-364-5289

その他 日本ではじめてのギャンブル依存症に苦しんでいる家族を支援するセンターです。あ

わせてアルコール・薬物・インターネット・ゲーム・株・先物取引・過食・拒食・恋愛・セックス・盗撮・痴漢・買物・仕事・虐待・暴力・AC・共依存など、嗜癖(アディクション)問題全般の相談にものります。これらについて、正しい知識や回復可能な病気であることを伝え、苦しんでいるご家族を支援していきます。相談者自らが「回復する力」を持っているとの考えに基づき、自らのその力に気づいてもらい、回復の手助けをします。必要に応じて自助グループやデイケア施設、医療機関と連携して、相談者の問

題に対処していきます。

アディクションは、苦しんでいる本人はなかなか気がつこうとしない、いわば否認の 病気です。ホープヒルでは、まずは気がついたご家族やご友人、関係者のご相談をお

待ちしています。

:民間団体の紹介

非営利活動法人ヌジュミ

(沖縄の方言で「希望」です)

所在地 〒 240-0054 横浜市保土ヶ谷区西谷町 4 丁目 1 番 6 号西谷産業ビル 1 階

利用者 女性のみの利用者に限る

主な活動・電話相談、見学、面接など

・年1回セミナーなど

・手芸、散策、ヨガ、軽体操、調理

集団療法(ミーティング)

GA 参加など

・広報を年3回発行

・リーフレットや冊子などで啓発活動を行っている

・ホームページ

支援において 大切にして いること 各自の問題行動をやめるのではなく、やめ続けることを目指している。それにはグループセラピー(ミーティングでの仲間との分かち合い)から気づきをもらい、お互いが

成長と回復を目指します。それには12ステップを指針にしている。

利用の手続き 面接の際には、面接カードを書いてもらう。通所が決まったら横浜市からの重要事項

説明書や施設利用規約などを説明する。

費用は無料です。

ホームページ等 http://nujyumi.la.coocan.jp/

団体連絡先等 〒 240-0054 横浜市保土ヶ谷区西谷町 4 丁目 1 番 6 号西谷産業ビル 1 階

その他 「女性のギャンブル依存症など回復を支援する施設です」

パチンコ、パチスロ、FX、ネットゲーム、競馬、etc

買い物・借金癖・盗癖

やめたいけどやめられない、身近にやめさせたい大切な人がいるけど、どうしたら

よいかわからない

〈電話・メールによる相談の通所の費用は無料です、相談は男女を問いません。〉 電話・メールによる家族・本人・友人などの相談、の通所の費用は無料です。男女

を問いません。

NPO 法人 ワンデーポート

所在地 〒 246-0013 神奈川県横浜市瀬谷区相沢 4-10-1 クボタハイツ 102

利用者ギャンブル依存症当事者、ご家族

主な活動 電話相談 (無料)

家族への個別相談 (無料)

入所施設の運営 本人の個別相談

通所による支援(無料)

社会啓発を目的としたセミナーの開催

支援において 大切にして いること (1) 一人ひとりの尊厳を守り、その人らしく社会参加するためのお手伝いをします。

(2) ギャンブルで問題を起こす背景は様々であり、ひとくくりに「依存症」ととらえ

ることはしません。

(3) ギャンブルに起因する問題解決のためには、人間と人間との出会いが不可欠だと

考えます。

(4) 関係機関など、あらゆるネットワークを活用します。

(5) ギャンブルは社会的行為であり、社会の変化とともに、利用者も変化すると考え

ます。そのため、援助方針や提供されるプログラムは、時代に合わせ変化するべきも

のと考えます。

利用の手続き 入所に関しては HP の Q & A をご確認の上、不明点がありましたらお問い合わせく

ださい。

ホームページ等 http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/index.html

団体連絡先等 TEL: 045-303-2621 FAX: 045-303-2629

メール oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp



K-GAP かわさき ギャンブラーズ アディクション ポート

所在地 〒 210-0814 神奈川県川崎市川崎区台町 4-1

利用者ギャンブル依存症当事者および家族

主な活動 K-GAP は週1回から利用できます。ギャンブル依存からの回復を目指す方ならどんな

方でも OK です。

通所をメインに活動していますが、入寮を希望される方はご相談ください。

その人その人の状況にあった利用方法を共に考えていきます。

川崎まで通える方は通所で、お近くでも入寮の必要がある方や、遠方の方は入寮での

利用を受け付けています。

K-GAP のプログラムはグループセラピーとアクティビティ(スポーツ、アート、音楽、ボランティア、レクレーション、園芸その他)が半分づつです。アクティビティのみ

の利用もできます。

支援において 大切にして いること K-GAP のアクティビティプログラムは、健全な生活習慣を作っていくための重要なプログラムです。ギャンブルをやらない生き方を続けていく上で、ギャンブル以外の楽しみを見つけることはとても大切ですので、ギャンブルだけでなくゲーム・スマホ・飲酒・買い物依存など、他の依存行為で、何か自分に合った楽しみを発見してください。

利用の手続き

相談と通所は基本無料です。入寮の場合のみ寮費を頂いています。生活保護受給中の

方でも利用できます。

ギャンブル問題により困窮している方、居場所がない方もご相談ください。利用期間

は特に定めはありません。

ホームページ等

https://k-gap.jp/

団体連絡先等

〒 210-0814 神奈川県川崎市川崎区台町 4-1

●川崎駅東口バスターミナル 12番乗場より市営バス 15分

「観音二丁目大師口」下車。道の反対側に渡り、降りたバスの進行方向に進み、二つ

目の路地を右折。少し進んだ左角にあります。

【その他利用可能バス】

17番「川 03:塩浜二丁目行」/ 16番「川 03:浮島バスターミナル行」/ 12番「川 05:東扇島循環」「川 07:かわさきファズ物流センター前行」/

銀柳街入口より「川07:東扇島西公園行」

その他

TEL: 044-742-7162

一般社団法人 相模原ダルク

所在地 〒 252-0237 神奈川県相模原市中央区千代田 3-3-20

利用者 薬物・アルコール・ギャンブル依存症者・その他行動嗜癖等の当事者及びご家族様

主な活動 午前 10:30 ~ 12:00 ピアカウンセリング 午後 13:30 ~ 15:00 プレジャー エイサー スポーツ SAGARPP(認知行動療法)

12 ステップワーク、個別アセスメント

【ピアカウンセリング】 ピアカウンセリングは全国のダルク共通プログラムです。言いっぱなし、聴きっぱなしのルールに従って、自分の過去の経験や今の状態を仲間と分かち合い、お互いに共感し合い、自分自身を見つめ、新しい生き方への気づきを手に入れます。

【スポーツ】 依存症に陥っている間は、体を動かし汗をかくことが少ないため、このプログラムでは軽いスポーツ(パレーボール、ソフトボール、バドミントン、ウォーキング等)を行うことで体力回復や仲間とのコミュニケーションの向上を図ります。 【SAGARPP】 SAGARPPとは、米国でその有効性が広く知られているマトリックス・モデルという総合的外来薬物依存症治療プログラムをもとにしたワークです。専用のワークブックの内容に沿って、依存症からの回復を目指します。マトリックス・モデルに関して専門的な知識を持ったスタッフが担当しています。

【プレジャー】 プレジャーの目的は、仲間と楽しむことです。仲間の希望によりますが、バーベキューをしたり、スキューバダイビング、キャンプ、登山、カヤック、ジェットスキー、サーフィン等自然と親しみながら、新しい環境で健康的な遊びをします。 【個別アセスメント】 年齢、経歴、家庭環境、依存症対象、依存形態などにより、依存症の進行度は一人一人異なります。そのため相模原ダルクでは、まず入所時に、経験豊富で専門的なスキルを持ったスタッフがクライアントの依存症の進行度(依存のレベル)を見極めることから始めます。入所後、様々なプログラムを進めていく中で回復のスピードも個々全く異なります。相模原ダルクでは3ヶ月ごとに個別の機会を設け、それぞれの回復スピードに合わせた支援計画をクライアントの意思を尊重しながら進めていきます。

支援において 大切にして いること

- ・当事者による直接的な支援
- ・利用者の意思を尊重しながら特性に合わせた個別支援
- ・自己肯定感、協調性の向上

利用の手続き まずは相談の上

電話:月~金9:00~18:00 土9:00~12:00

メール:随時

ホームページ等 https://s-darc.com

団体連絡先等 住所 神奈川県相模原市中央区千代田 3-3-20

TEL: 042-707-0391 FAX: 042-707-0392

メール info@s-darc.com

一般社団法人 グレイス・ロード

(英語で「神の恵み」から)

所在地 本部) 〒 400-0857 山梨県甲府市幸町 9-23

山梨回復支援センタービル 2F

利用者 ギャンブル依存症当事者、ご家族、その他(行政、医療、司法からの相談窓口として)

主な活動・ギャンブル依存症者への回復プログラムの提供

グループミーティングを軸とした回復プログラムの実施

自助グループ(GA など)への参加

プログラム修了者に対するアフターサポート(再発予防プログラム)

• 相談対応

ギャンブル依存症当事者や家族等に対して、電話やメールでの相談を実施

講演・広報・啓発活動

フォーラム、セミナーの開催と参加、講師派遣 メディアを通した広報・啓発・機関誌の発行

・地域との交流、ボランティア活動 地域行事参加、地域避難所の提供、ゴミ拾いボランティア

支援において 大切にして いること ・ギャンブルをしない日常生活の構築

・断ギャンブルにとどまらない生き方の修正

・ギャンブル依存症者にとっての「居場所」になる

・当事者活動(ピアサポート=当事者が当事者を手助けする仕組み)

利用の手続き電話での問い合わせ・相談

TEL: 055-287-8347 (山梨) TEL: 03-5937-3816(東京)

メールでの問い合わせ・相談

ホームページの相談フォームから記入送信

ホームページ等 https://gracelord.jp/(山梨) http://gracelord-tokyo.jp(東京)

団体連絡先等 一般社団法人 グレイス・ロード本部

住所 〒 400-0857 山梨県甲府市幸町 9-23

山梨回復支援センタービル 2F

TEL/FAX: 055-242-8001 E-mail g.lord1224@gmail.com

その他 私たちグレイス・ロードはギャンブル依存症に苦しむ当事者とその家族、そして地域

と社会の役に立てるよう、日々活動しています。詳しくはホームページをぜひご覧に

なってください。

一般社団法人セルフリカバリー 自立訓練施設「マインド」

所在地 〒 252-0237 石川県金沢市間明町 1-231

利用者 当事者

主な活動 ・ミーティング

・家計簿・運動・就労支援

・買い物支援

礼拝創作園芸

• SST

・依存症プログラム

調理余暇活動

支援において 大切にして いること 当事者自身が回復への主役であり脚本家でもあります。本人にとっての素晴らしいストーリーを創るために、私達支援者は、その人の「強み」「個性」に着目しています。

利用の手続き 障害福祉サービス利用までワンストップで対応しています。併設している相談支援事

業所、入所施設の利用、提携している弁護士、精神科医、司法書士との連携でスムー

ズにできます。

ホームページ等 http://self-r.net/

団体連絡先等 上記と同じ。

本社: 076-282-7567 マインド: 076-292-2963

石川救急サポート「ふくろうの会」: 0120-207-567

E-mail info@self-r.net

その他 当事業所では、自立準備ホームを所有しております。ギャンブル依存症による触犯

者、前科者の支援もしております。

金銭管理もご本人の承諾に基づき、実施しています。 依存症からのリカバリーには適した環境を提供しています。

特定非営利活動法人 岐阜ダルク

所在地 〒 500-8864 岐阜市真砂町 11-12 不破ビル 4 階

利用者 依存症当事者、家族、その他

当事者以外の方は、必要な相談に応じ、家族会の開催などによりサポートしています。

主な活動・男性用入所施設1カ所、女性用入所施設2カ所の運営

・指定自立訓練(生活訓練)事業所 Step house の運営

・岐阜ダルク家族会 STEPS の開催

・ニュースレター「鵜鮎つうしん」の発行

・依存症に関する電話・来所での相談に対応

支援において 大切にして いること 仲間と共にいるなかで、12 ステップのプログラムを実践し、依存症となった自分自身

を変えていきます。

利用の手続きまずは相談においで下さい。

ホームページ等 http://gifu-darc.sakura.ne.jp/

団体連絡先等 岐阜市真砂町 11-12 不破ビル 4 階

TEL: 058-201-3555



NPO 法人 三重ダルク

所在地 津駅前事務所 〒 514-0004 三重県津市栄町 3 丁目 130

津新町事務所 〒 514-0033 三重県津市丸之内 1-16

利用者 依存症当事者

主な活動 アディクション関連問題の相談、助言

アディクション関連問題を抱える人への住居支援、生活支援、回復支援、教育支援

関連各機関への講師派遣

地域依存症ネットワーク事業(三重県と協働)

支援において 大切にして いること 一人ひとりの特性に合わせた個別支援

三重ダルクは薬物依存症からの回復を目的としたリハビリセンターです。 薬物をやめたい願望のある方なら誰でも参加できます。3 段階のプログラムを行っており、心とからだのケア、社会スキル訓練から学業復帰、就労までをサポートしています。 入寮

と通所の方法があり、相談に応じています。

利用の手続き

ホームページ等 http://www.miedarc.com

団体連絡先等 TEL/FAX: 059-222-7510

E-mail: miedarc@zc.ztv.ne.jp



NPO 法人 京都マック

所在地 〒 600-8363 京都市下京区大宮通丹波口下ル大宮 3 丁目 11

利用者 当事者、家族、その他

主な活動 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉

サービス事業・地域啓発活動

・アルコール・薬物などなどについての研修会、セミナー、ワークショップ

・アルコール・薬物などなどの依存症をやめ続けるためのミーティング及びリハビリ

テーション

・アルコール薬物等々の依存症及びその家族に対し、グループセラピー及び個人カウ

ンセリング

指定特定相談事業所の運営

その他

支援において 大切にして いること アルコールや薬物を辞めたい仲間の手助けをすることを目的とする。

どんなにひどい依存症者でも自分に正直になり、マックプログラムを実践することに

より回復を目指す。

利用の手続き ホームページ参照

ホームページ等 http://kyotomac.com/

団体連絡先等 TEL: 075-741-7125 FAX: 075-741-7126

大阪いちょうの会 (大阪クレサラ・貧困被害をなくす会)

所在地 〒 530-0047 大阪府大阪市北区西天満 4 丁目 5 番 5 号マーキス梅田 301 号

利用者ギャンブル被害の当事者やその関係者

多重債務被害の当事者やその関係者 ヤミ金被害の当事者やその関係者 その他貧困被害の当事者やその関係者

主な活動 クレジット・サラ金相談

● ヤミ金・小口相談

● 商工ローン被害相談

● 年金担保被害相談

● 特定調停解決

● 自己破産の申立

● 個人再生の申立

支援において 大切にして いること 家族相談の際、借金の問題は本人の問題だと切り捨ててしまうのではなく、家族の支

援が本人の回復につながるという視点で丁寧な家族支援に努める。

目的は、家族の健康と本人の回復であるという視点を忘れずに支援に取り組む。

自助グループや医療機関、他の支援機関との顔の見える関係づくり。

利用の手続き 電話受付:平日 13 時から 17 時 06-6361-0546

ギャンブル被害専用相談フォーム

https://pro.form-mailer.jp/fms/aa048684203227

ホームページ等 http://ichounokai.jp/index.html/

団体連絡先等 TEL: 06-6361-0546



特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご

所在地 〒 546-0022 大阪市東住吉区住道矢田 3 丁目 4-3

利用者 当事者、ご家族

主な活動 自助グループ・医療機関・行政機関・地域と連携、協働して障がい者の日常生活及び

社会生活を総合的に支援する、法律に基づくサービスの提供を行っています。具体的には当事者が回復を続けるための生活と仕事づくりや社会参加の促進また、そのための多くの学びの提供を行っています。更に研修会や啓発企画の実施、通信の発行やホームページでの発信、医療機関や学校、地域などへのメッセージ活動を行いながら、学校や大学、関連団体との共同取り組みとして、各種協議会、専門職団体、多機関との連携を取りながら、自助グループや様々な社会資源と繋がる「つながりプログラム」

を実施しています。

支援において 大切にして いること 私たちが最も大切にしていることは回復を目指すということ、今日一日を共に大切に 生き、新たな生き方(価値観、関係)を職員や仲間達と一緒に見つけ出すこと、自助 グループにつながる生活作りを実現していきます。その上で誰もが生きやすい社会作

りを目指しています。

利用の手続き まずはお電話にて受付をしております。そして、既に依存症の治療を受けられてい

る場合は、日時を決めて施設の見学を行っていただきます。また依存症治療を受けておられない場合は、通所利用しながらご相談の上、専門治療機関をご紹介しますので、主治医の先生やソーシャルワーカーにご相談いただき、各市区町村へ申請を

経てサービス利用開始手続きを行って頂きます。

ホームページ等 https://ichigonokai.jp/

団体連絡先等 〒 546-0022 大阪市東住吉区住道矢田 3 丁目 4-3

TEL/FAX: 06-6769-1517

所在地 〒 634-0803 奈良県橿原市上品寺町 370-22

利用者 当事者、ご家族

主な活動・無料相談窓口(来所・メール・LINE・フリーダイヤル)

・セミナー、講演、取材対応 ・矯正施設での薬物離脱指導教育

・女性活躍推進に関する事業 ・何かに対する依存を抱え生きづらさがある方の回復支援(入所型)

・インタベンション(介入)、ダイバージョン(法律相談)

支援において 大切にして いること その人が本来持っている自身の強みに気付いてもらい、過去の出来事や傷を癒し、レジリエンスを高めてもらう。そして本人のニーズや特性、強みを伸ばし、利用者の自律した日常生活と社会生活を実現するための支援を行う。

利用の手続き電話にてお問い合わせください。

ホームページ等 http://oneness-g.com

団体連絡先等 ※平日月~金 10:00 ~ 17:00 0120-111-351 0744-22-5752

その他 ワンネスグループは人がよりよく生きるための「ウェルビーイング」に着目したプ

ログラムを提供します。

従来の依存症支援は「維持」や「回復」といったマイナス領域をフラットにすることにとどまっていました。ワンネスグループでは「ウェルビーイング」の考え方を回復領域に適用し従来の支援ではできなかった、どうしたらより良く生きられるのかと言うプラス領域へのアプローチが可能になりました。これにより依存状態からの脱却やその他疾病の改善だけでなく、本来本人が持っている強みを生かし成長や持続的な幸福感の獲得など、「生きがいを持って人生を生きる」ことのできる社会生活や、人生設計を実現するための支援を行っています。

11

一般社団法人 ワンネス財団

セレニティーパークジャパン名古屋、奈良、沖縄、奈良 GARDEN、沖縄 GARDEN、ワンネスの里、ワンネスグループ奈良本部、九州沖縄本部、日本ファミリーインタベンションセンター、ワンネス財団ダイバージョンセンター、ワンネスグループ大阪オフィス(問題ギャンブル対策センター大阪)

所在地 財団本部 〒 901-0618 沖縄県南城市玉城字船越 218-1

TEL: 098-988-0945 FAX: 098-988-0946

利用者 発達障害、精神疾患、依存症、触法者・受刑者、

非行少年/少女 当事者、ご家族

主な活動 入所、通所(週末型)、相談等で当事者、ご家族の支援を行っている。

①依存について知る機会の提供

②依存症相談の提供

③依存回復サポートの提供(通所、オンライン) ④受刑者のためのライフキャリアスクール

⑤依存症を知る「マンガ小冊子」の無料ダウンロード 等

支援において 大切にして いること ワンネス財団は、ウェルビーイングに着目した独自のプログラムとコンセプトで、精神疾患や様々な障害、各種依存、触法者の心身の回復とその後の成長を支援する専門

機関です。

生き甲斐を持って「人生を生き直すことのできる回復と成長」をサポートしています。

利用の手続き

◆ 電話… (相談ダイヤル) 0120-111-351

(月曜~金曜 10:00~17:00)

- ◆ メール ··· (メール相談) one@oneness-g.com
- ◆ LINE ··· 下記ボタンから友達登録後、タイムラインに直接相談可能
- ◆ 来所 …各施設・各拠点に直接で連絡いただくか

相談ダイヤル(0120-111-351)へ連絡後、日程調整を行う

ホームページ等

https://oneness-g.com/dependence/person/

団体連絡先等

相談ダイヤル 0120-111-351 (月~金曜日 10:00~17:00)

ギャンブル問題を考える家族会(藍里病院)

所在地 〒 771-1342 徳島県板野郡上板町佐藤塚東 288-3

利用者

主な活動 家族のギャンブル問題を言いっぱなし聞きっぱなしで話をし、穏やかさを取り戻して

いる方の経験を参考に自らの健康を取り戻してもらえるような集いである。

支援において 大切にして いること 無名、実名を言う必要がない

この会での話はこの場だけで持ち帰らない。

利用の手続き 特になし

ホームページ等 http://www.aizato.or.jp/

団体連絡先等 TEL: 090-4974-1741 または 088-694-5151



コスモスの会(ギャンブル依存症の家族会)

(11 月発足のため季節の花)

所在地 男女共同参画推進センター (コムズ)

〒 790-0003 愛媛県松山市三番町 6 丁目 4-20

利用者

主な活動 ①ミーティング(家族会)の開催(参加料 500 円)

毎月第2日曜日13時半~16時 毎月第4木曜日19時~21時

②ギャンブル依存症と家族の対応セミナーの開催

③専門職向けの講演会の開催

④コスモス通信の発行

支援において 大切にして いること コスモスの会では「病について正しく対応を学んでください」また、「本人を手放してください」、そして「自分らしく生きてください」と伝えています。自分らしく生きることは病気の本人を見捨てることではなく、自分を大切にすることであり、本人を信頼し、大切にすることだということに気づいて欲しいと思っています。どうぞ自

分の心の声に耳を傾けてください。

利用の手続き cosmos_matsuyama@yahoo.co.jp にてご連絡ください

ホームページ等 http://www.npo-donmai.com/scrap/cosmos_01.html

団体連絡先等 cosmos_matsuyama@yahoo.co.jp

高知うろこ(鱗)の会

(「目から鱗(うろこ)がおちた」思いを忘れず、自分を守り、被害者を守り、 新たな被害者を作らない社会を目指す多くの鱗になろう」という思いを 「高知うろこ(鱗)の会」の名に込めました。)

所在地 〒 780-0870 高知県高知市本町 4 丁目 1-37 県社会福祉センター 3F-4

利用者 借金問題でお困りの方

主な活動 相談会(借金、多重債務、違法な取り立てやギャンブル依存症でお困りの方)

支援において ひとりで悩まず、高知うろこの会に相談してください。 大切にして うろこの会には実際に被害経験のある相談者がいます。

人生のリセット、なんとかなるはずです。

利用の手続き 相談会への参加(予約制)、メール相談、電話相談

ホームページ等 http://urokonokai.web.fc2.com/

団体連絡先等 〒 780-0870 高知県高知市本町 4 丁目 1-37

県社会福祉センター 3F-4

高知うろこの会



特定非営利活動法人ジャパンマック 北九州マック

所在地 〒 803-0814 北九州市小倉北区大手町 6-27 管工事協同組合ビル 3 階

利用者 依存症当事者とご家族

主な活動様々な依存症からの回復に向けてのリハビリ施設です。ご家族の方の相談も受け付け

ております。 ご利用は全て無料。

365 日開けております。

ミーティング個別相談、セミナー、フェローシップ

支援において 12 ステップをもとに回復の支援を行っています。

大切にして 地域の自助グループへつながるようにお手伝いしています。 いること

利用の手続きまずはお電話ください。

093-967-7691

ホームページ等 https://www.japanmac.or.jp/kitakyushumac/

団体連絡先等 093-967-7691

その他 北九州マック

北九州地域の地域活動支援センターです。

特定非営利活動法人ジャパンマック ジャパンマック福岡

所在地 〒 812-0043 福岡市博多区堅粕 3-19-19

利用者 当事者、ご家族

主な活動・施設内において当事者によるミーティング

・12 ステップを用いた個別支援・RD を用いた教育プログラム・外部からの相談(電話)

・外部の方、面談

支援において 大切にして いること 当事者の声に耳を傾け、当事者を中心とした支援

利用の手続き 障害福祉サービス

ホームページ等 https://japanmac.or.jp/jmacfukuoka/

団体連絡先等 092-292-0182

その他 九州地方のジャパンマック各施設を統括する事業所です。

GH、就労移行支援、カウンセリングルームなど多岐にわたる事業を展開しています。



一般社団法人 656 COBYPLAN

所在地 〒 849-0937 佐賀県佐賀市鍋島 3-2-4

利用者 当事者、ご家族

主な活動 ・依存症の方の相談

・依存症の方のことで困っている方の相談(家族、パートナー、会社の方、その他)

講演

入所プログラム

支援において 大切にして いること 依存問題だけではなく、精神疾患や発達の問題などを見過ごさないよう少人数制をとっています。(最大 10 名) グループワークをベースに個別のプログラムを提供でき

ます。 (入所を基本とします。)

その人に合った生活スキルを獲得できるよう支援します。 その人に合った金銭管理方法を獲得できるよう支援します。

その人に合った依存症プログラムを提供します。

同じ問題を解決しようとしている仲間との"共に、そばにいる"場の提供をします。 リカバリングスタッフ、専門医、弁護士との面接を通して身体的、精神的、社会的な

健康を取り戻せるよう支援します。

利用の手続きまずはご連絡ください。

ホームページ等 https://www.cobyplan.jp/

団体連絡先等 TEL: 0952-27-4755

MAIL cobyplan@gmail.com

その他 COBYPLAN は佐賀県にあります。都会の喧騒を忘れてリハビリするには絶好の口

ケーションです。山と海の両方があり、生活は佐賀平野が中心となります。数ヶ月

住んでみると南の島や北の大地にはない佐賀の魅力に気がつくはずです。

ここは最大10名の少人数制をとっており、効果の高いと言われるグループワーク

だけでなく、個別の対応にも力を入れております。

特定非営利活動法人アディクション・ネットワーク

所在地 〒 859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 730-1 アディクション喜々津

利用者 依存症の当事者

主な活動 依存症克服に向けた相談事業

社会的生活を営む上で居宅支援企業

支援において 大切にして いること 依存症者、社会的弱者の方々の現場の改善に寄与したいと考え、活動しています。

利用の手続き

ホームページ等

団体連絡先等 〒 859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 730-1 アディクション喜々津

特定非営利活動法人アディクションネットワーク 代表理事 永田寿一

電話/FAX: 0957-51-7594



特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク

所在地 〒 903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原 2 丁目 9 番地の 1

ルボワ YARA2F

利用者 当事者と家族

主な活動 リカバリーサポート・ネットワークは、パチンコ・パチスロの遊技に関する依存及び

依存関連問題解決の支援を行うことを目的に設立された非営利の相談機関です。 問題でお悩みの方やそのご家族を対象に、無料で電話相談を実施しています。

(通話料のみ、ご負担をお願いします)

支援において 大切にして いること

利用の手続き

ホームページ等 http://rsn-sakura.jp/

団体連絡先等 050-3541-6420

無料電話相談回線(IP 電話)

月~金(祝日除く)10:00~22:00 (受付は21:30まで)

ワンネスグループ 一般社団法人 セレニティパークジャパン沖縄

所在地 〒 900-0016 沖縄県那覇市前島 2-2-16 コーポ有住 401 号室

利用者 入所は当事者のみだが、家族会やセミナーで家族や関係機関向けの取り組みもあり

主な活動・入所施設

・オンライン型の通所コース

・インタベンションセンター (介入)

・依存症を知るセミナー

支援において 大切にして いること 依存行為を止めるのを目的にせず、生きやすくなり、当事者、家族が幸せになれるお

手伝いをさせていただいている。

利用の手続き まずは相談ダイアル 0120-111-351 月~金 10:00~17:00

もしくは、HP からのメール相談でお願いします。

ホームページ等 https://oneness-g.com/

団体連絡先等 相談ダイヤル:0120-111-351 (月曜~金曜 10:00~17:00)

その他 ワンネスグループは「依存症」という枠組みから離れ全ての、人が心身ともに回復

しウェルビーイングないき直しができるお手伝いをさせていただいています。

琉球 GAIA 薬物・アルコール依存症リハビリセンター

所在地 〒 900-0024 沖縄県那覇市古波蔵 1 丁目 18-37

利用者 当事者、ご家族

主な活動 アルコール・ギャンブル及び薬物依存症に関する電話相談及び、全国の連携治療機関

の紹介(薬物・アルコール依存症相談センターの運営)

アルコール・ギャンブル及び薬物依存症者のリハビリ宿泊滞在及び通所施設運営事業、

生活支援事業、自立支援事業(沖縄ケアセンター琉球 GAIA の運営)

アルコール・ギャンブル及び薬物依存症者をもつ全国のご家族への相談援助事業 (GAIA

家族会の運営)

刑務所、少年院にて薬物離脱指導プログラムの開催。障害者地域生活支援センター等

との連携や依存症家族会の開催など啓蒙教育活動の実施

支援において 大切にして いること ①安全な環境

②さまざまな依存症教育プログラム

③趣味や生きがいの発見

④対人関係の改善

⑤自立支援

利用の手続き ホームページからのメールフォーム、または、お電話

東日本 03-5800-5121 西日本 06-6433-5111 沖縄 098-851-3535

ホームページ等 http://ryukyu-t.com/

団体連絡先等 098-831-2174 (代表)

ALPS Center アルコール問題支援事業所

ALcohol Problem Support Center

所在地 〒 900-0016 沖縄県那覇市前島 3 丁目 19-8

利用者 当事者、ご家族、地域の専門員、病院のケースワーカー

主な活動 アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害の依存症支援

生活訓練(金銭管理、服薬、通院支援、自助グループへの送迎)

就労訓練

支援において 大切にして いること 一人一人とのカウンセリングの時間を大切にしている。

利用の手続き

ホームページ等 http://alpsc.com/

団体連絡先等 TEL: 098-943-5137

受付時間:9:00~18:00(月曜日~金曜日)



一般社団法人 むら

所在地 〒 901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28

利用者 当事者

主な活動 アルコールや薬物、ギャンブル等依存問題をお持ちの方や、身体、知的、精神に障害

をお持ちの方々が、沖縄県宜野湾市でコーヒー、紅茶の加工、販売を行っている就労

継続支援 B 型事業所で、現在、多くの女性の方々が利用しています。

支援において 大切にして いること アディクションをはじめさまざまな問題を持ちながらも、社会の中でなんとか今日一日を生きている方々が安心していられる日中の居場所の必要性を強く感じています。

アディクションに問題を持つ方々は、一人ではできないことも、仲間と一緒ならできることもあります。ワーカーズホームでは、働く人の家として仲間と共に自立へ向け

たお手伝いを致します。

働きたいけれど、どこから手を付けていいか分からない、働いているけれど毎日が大変、家にひきこもりがち等の現状から一歩前へ進めるようなサポートを致します。お

気軽にお問い合わせください。

ワーカーズホームでは、自分のペースで自分らしさを取り戻せる家を目指しています。

利用の手続き

ホームページ等 http://muraokinawa.org/

団体連絡先等 TEL: 098-955-1692

FAX: 098-955-1692

メール: info@muraokinawa.org

沖縄ダルク サントゥアリオ

所在地 〒 901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 4F

利用者 当事者、ご家族

主な活動 ミーティング

沖縄の伝統芸能 エイサー太鼓ヨガ スポーツ DVD 鑑賞

認知行動療法

クラフト レクリェーション キャンプ 他

講演活動 等

支援において 大切にして いること 個別対応、何度でもやり直せる事 人と人の繋がり

わたし達は、

生きづらさを抱え依存に苦しんでいるすべての人たちの

不安 と 恐れ を 愛 と 光 に転換し 新しい生き方 (ReStrat) のガイドとなり

すべての人が 本来 持っている

自分らしい生命の輝きを蘇らせる(ReBorn)

支援をします

利用の手続き生活保護の申請(必要な方)グループホーム

障害福祉サービス(生活訓練 就 A,B)

ホームページ等 https://www.okidarc.or.jp/

団体連絡先等 沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 4F ギャンブル担当 長久保剛

098-943-8774 080-2555-7423

3 全国の精神保健福祉センター

都道府県	名称	郵便番号	所在地	連絡先
北海道	北海道立精神保健福祉センター	003-0027	札幌市白石区本通 16 丁目 北 6-34	011-864-7000
	札幌こころのセンター	060-0042	札幌市中央区大通西 19WEST19 4階	011-622-0556
青森県	青森県立精神保健福祉センター	038-0031	青森市大字三内字沢部 353-92	017-787-3957
岩手県	岩手県精神保健福祉センター	020-0015	盛岡市本町通 3-19-1 岩手県福祉総合相談センター内	019-629-9617
宮城県	宮城県精神保健福祉センター	989-6117	大崎市古川旭 5-7-20	0229-23-0021
	仙台市精神保健福祉総合センター	980-0845	仙台市青葉区荒巻字三居沢 1-6	022-265-2229
秋田県	秋田県精神保健福祉センター	010-0001	秋田市中通 2-1-51 明徳館ビル 1 階	018-831-3946
山形県	山形県精神保健福祉センター	990-0021	山形市小白川町 2-3-30	023-624-1217
福島県	福島県精神保健福祉センター	960-8012	福島市御山町 8-30	024-535-3556
茨城県	茨城県精神保健福祉センター	310-0852	水戸市笠原町 993-2	029-243-2870
栃木県	栃木県精神保健福祉センター	329-1104	宇都宮市下岡本町 2145-13	028-673-8785
群馬県	群馬県こころの健康センター	379-2166	前橋市野中町 368	027-263-1166
埼玉県	埼玉県立精神保健福祉センター	362-0806	北足立郡伊奈町小室 818-2	048-723-3333
	さいたま市こころの健康センター	330-0071	さいたま市浦和区上木崎 4-4-10	048-762-8548
千葉県	千葉県精神保健福祉センター	260-0801	千葉市中央区仁戸名町 666-2	043-263-3891
	千葉市こころの健康センター	261-0003	千葉市美浜区高浜 2-1-16	043-204-1582
東京都	東京都立精神保健福祉センター	110-0004	台東区下谷 1-1-3	03-3844-2210
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	156-0057	世田谷区上北沢 2-1-7	03-3302-7711
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	206-0036	多摩市中沢 2-1-3	042-371-5560
神奈川県	神奈川県精神保健福祉センター	233-0006	横浜市港南区芹が谷 2-5-2	045-821-8822
	横浜市こころの健康相談センター	231-0005	横浜市中区本町 2 - 22 京阪横浜ビル 10 階	045-671-4455
	川崎市精神保健福祉センター	210-0005	川崎市川崎区東田町 8 番地 パレール三井ビル 12 階	044-200-3195
	相模原市精神保健福祉センター	252-5277	相模原市中央区富士見 6-1-1 ウェルネスさがみはら 7 階	042-769-9818
新潟県	新潟県精神保健福祉センター	950-0994	新潟市中央区上所 2-2-3	025-280-0113
	新潟市こころの健康センター	951-8133	新潟市中央区川岸町 1-57-1	025-232-5560
富山県	富山県心の健康センター	939-8222	富山市蜷川 459-1	076-428-1511
石川県	石川県こころの健康センター	920-8201	金沢市鞍月東 2-6	076-238-5750
福井県	福井県総合福祉相談所	910-0026	福井市光陽 2-3-36	0776-24-7311
山梨県	山梨県立精神保健福祉センター	400-0005	甲府市北新 1-2-12	055-254-8644
長野県	長野県精神保健福祉センター	380-0928	長野市若里 7-1-7	026-227-1810
岐阜県	岐阜県精神保健福祉センター	502-0854	岐阜市鷺山向井 2563-18 岐阜県障がい者総合相談センター内	058-231-9724
静岡県	静岡県精神保健福祉センター	422-8031	静岡市駿河区有明町 2-20	054-286-9245
	静岡市こころの健康センター	420-0821	静岡市葵区柚木 1014 番地	054-262-3011
	浜松市精神保健福祉センター	430-0929	浜松市中区中央 1-12-1 県浜松総合庁舎 4 階	053-457-2709

都道府県	名称	郵便番号	所在地	連絡先
愛知県	愛知県精神保健福祉センター	460-0001	名古屋市中区三の丸 3-2-1 東大手庁舎	052-962-5377
	名古屋市精神保健福祉センター	453-0024	名古屋市中村区名楽町 4-7-18	052-483-2095
三重県	三重県こころの健康センター	514-8567	津市桜橋 3-446-34	059-223-5241
滋賀県	滋賀県立精神保健福祉センター	525-0072	草津市笠山 8-4-25	077-567-5010
京都府	京都府精神保健福祉総合センター	612-8416	京都市伏見区竹田流池町 120	075-641-1810
	京都市こころの健康増進センター	604-8854	京都市中京区壬生仙念町 30	075-314-0874
大阪府	大阪府こころの健康総合センター	558-0056	大阪市住吉区万代東 3-1-46	06-6691-2818
	大阪市こころの健康センター	534-0027	大阪市都島区中野町 5-15-21 都島センタービル 3 階	06-6922-8520
	堺市こころの健康センター	590-0808	堺市堺区旭ヶ丘中町 4 丁 3-1 健康福祉プラザ 3 階	072-245-9192
兵庫県	兵庫県精神保健福祉センター	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-2	078-252-4980
	神戸市精神保健福祉センター	650-0016	神戸市中央区橘通3丁目4番1号 神戸市立総合福祉センター3階	078-371-1900
奈良県	奈良県精神保健福祉センター	633-0062	桜井市粟殿 1000	0744-47-2251
和歌山県	和歌山県精神保健福祉センター	640-8319	和歌山市手平 2-1-2	073-435-5194
鳥取県	鳥取県立精神保健福祉センター	680-0901	鳥取市江津 318-1	0857-21-3031
島根県	島根県立心と体の相談センター	690-0011	松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根 2 階	0852-21-2045
岡山県	岡山県精神保健福祉センター	700-0985	岡山市北区厚生町3丁目3番1号	086-201-0828
	岡山市こころの健康センター	700-8546	岡山市北区鹿田町 1-1-1	086-803-1273
広島県	広島県立総合精神保健福祉センター	731-4311	安芸郡坂町北新地 2-3-77	082-884-1051
	広島市精神保健福祉センター	730-0043	広島市中区富士見町 11-27	082-245-7731
山口県	山口県精神保健福祉センター	753-0814	山口市吉敷下東 4-17-1	083-902-2672
徳島県	徳島県精神保健福祉センター	770-0855	徳島市新蔵町 3-80	088-625-0610
香川県	香川県精神保健福祉センター	760-0068	高松市松島町 1-17-28	087-804-5565
愛媛県	愛媛県心と体の健康センター	790-0811	松山市本町 7-2 愛媛県総合保健福祉センター 3 階	089-911-3880
高知県	高知県精神保健福祉センター	780-0850	高知市丸/内 2-4-1	088-821-4966
福岡県	福岡県精神保健福祉センター	816-0804	春日市原町 3-1-7 福岡児童相談所等庁舎 2 階	092-582-7500
	北九州市立精神保健福祉センター	802-8560	北九州市小倉北区馬借 1-7-1 北九州市総合保健福祉センター 5 階	093-522-8729
	福岡市精神保健福祉センター	810-0073	福岡市中央区舞鶴 2-5-1 あいれふ 3階	092-737-8829
佐賀県	佐賀県精神保健福祉センター	845-0001	小城市小城町 178-9	0952-73-5060
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	852-8114	長崎市橋口町 10-22	095-846-5115
熊本県	熊本県精神保健福祉センター	862-0920	熊本市東区月出 3-1-120	096-386-1166
	熊本市こころの健康センター	862-0971	熊本市中央区大江 5-1-1 ウェルパルくまもと 3 階	096-362-8100
大分県	大分県こころとからだの相談支援センター	870-1155	大分市大字玉沢 908	097-541-5276
宮崎県	宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島 1-1-2 宮崎県総合保健センター 4 階	0985-27-5663
鹿児島県	鹿児島県精神保健福祉センター	890-0021	鹿児島市小野 1-1-1	099-218-4755
沖縄県	沖縄県総合精神保健福祉センター	901-1104	島尻郡南風原町宮平 212-3	098-888-1443

V おわりに

本調査にご協力いただきました、全国の精神保健福祉センターの依存症担当の皆様、民間団体で日々依存症の方々の支援に携わっている皆様には、2020年の新型コロナウィルス感染症対策でお忙しい中、調査にご尽力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

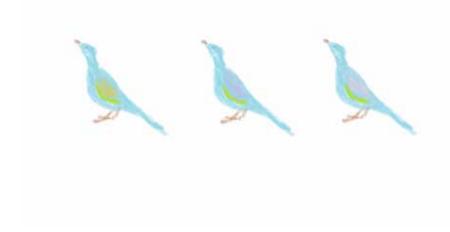
感染症の影響により、世界中の人々のこれまでの日常が一変し、さまざまな困難に対応しなければならなくなりました。我が国の依存症業界においても、大きな影響がありました。これまで行われていた通常のプログラムやミーティングが行えなくなったり、人々との交流も制限せざるを得なくなりました。ストレスから依存症の再発や、家庭内でのトラブルも増えたことが予測されます。しかし、仲間同士で電話やSNSの活用がこれまで以上に広まったり、オンラインミーティングやオンラインセミナーが開催されたりと、これまでと違う形でのつながりができたという話も聞くことができました。また、リアルで対面ミーティングをしたり、握手をしたり肌と肌の触れ合いが当たり前にできなくなった今だからこそ、そのありがたさを感じているという話も聞くことができました。

本冊子を手に取ってくださっている方々の中には、ギャンブル依存症問題で苦しんでいる方や、支援に迷いを感じている支援者の方もいるかと思いますが、ぜひ、自助グループ及び民間支援団体の活動を知っていただく機会になれたらと思います。

掲載させていただきました民間支援団体は本冊子以外にも全国に存在しますが、先ずは第1版として発行させていただきました。掲載をご希望の方は巻末にございます連絡先にご連絡いただきたいと思います。

2021 年 1 月末日 筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ヒューマン・ケア科学学位プログラム

博士課程 土方郁美



謝辞

本冊子『ギャンブル問題の当事者や家族への民間団体・自助活動の紹介』の作成にあたり、お忙しい中、多くの協力を得ました、信州大学医学部保健学科准教授 新井清美先生、全国の精神保健福祉センター、G A やギャマノンに継続的に参加されインタビューに答えてくれた方々に感謝いたします。

そして、本冊子の趣旨を理解し、アンケートにご協力いただき、各団体の貴重なご意見を聞かせてくださった民間団体の担当者の方々に心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。

参考文献・URL 厚生労働省「全国の精神保健福祉センター一覧」

(https://www.mhlw.go.jp/kokoro/support/mhcenter.html)

監修 森田展彰 土方郁美

執筆・編集 森田展彰 土方郁美

デザイン・構成田中千香子イラスト北爪美枝子

印刷社:株式会社 創都

発行所: 筑波大学 社会精神保健学分野

問い合わせ 筑波大学 精神保健学分野

〒 305-8577 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 総合研究棟 D743 室

連絡先 029-853-3099(Tel/Fax)

E-mail seishinhoken@md.tsukuba.ac.jp



ギャンブル問題の当事者や家族への民間団体・自助活動の紹介 2021年3月発行

編集

筑波大学 医学医療系・准教授 森田展彰 筑波大学人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ヒューマン・ケア科学学位プログラム 土方郁美 連絡先 029-853-3099(Tel/Fax)

この研究は厚生労働科学研究費補助金「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究(19GC1101)によって実施されています。本誌において掲載されている内容の一部及びすべてについて、事前の許諾なく無断で複写、複製、転載することは、著作権侵害となるため禁止します。